

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（163）」

2. 日時：令和5年6月21日(水) 16時00分～18時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、藤原主任安全審査官、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：松村執行役員 他9名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 泊発電所 火山影響評価のうち立地評価に係る審査資料における写真の掲載誤りについて

<<本年6月14日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（本日の説明概要）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	はい、原子力規制庁谷です。それではヒアリングを始めます。
00:00:09	東京の案件としましては、泊発電所 3 号炉の基準津波に関するコメント回答ということで、6 月 14 日に 3 分冊で、
00:00:20	資料が届いているのと、もう 1 個火山の
00:00:25	審査資料における写真の掲載誤りについてっていう、これは今日の資料ですね、その内容が提出されてますので、まずは
00:00:36	津波の方の資料の説明からお願いします。
00:00:41	はい。北海道電力の松村です。本日の津波のヒアリングよろしく願いいたします。
00:00:47	今、谷さんからございました通りこれから津波のご説明いたします。説明概要の資料を中心に、30 分程度、青木の方から説明させていただきますよろしく願いいたします。
00:01:02	北海道電力の青木です。私の方から説明させていただきます。
00:01:07	資料の方ですが、三種類ご用意しておりますと 30 ページほどの説明概要をまとめた資料、また 200 ページ歩道の表紙に無印のもの、こちら本編資料と呼ばさせていただきます。
00:01:19	最後に、400 ページほどの補足説明資料となります。説明については説明概要をメインに説明させていただいて大事なところは補足説明資料を用いて説明させていただきます。
00:01:31	早速ですが説明概要の資料の、
00:01:34	2 ページ 3 ページ目を見開きをご覧ください。
00:01:39	と今回の説明としましては、令和 5 年の 3 月 24 日の審査会合のコメントであります、指摘事項 No. 33 番と 34 番の回答の位置付けとなります。
00:01:51	あと 2 ページで指摘事項 33 番の指摘事項と回答方針、掲載してございます。
00:01:56	指摘事項ですが、朱書きで書いてあるところの、
00:02:00	と現在の組み合わせ候補としている波源で組み合わせ後の推移に影響の大きい波源が選定できているのかについて説明すること。
00:02:07	に対しましては回答方針としては、令和 5 年の 3 月 24 日で説明しました地震に伴う津波の上昇側の最大ケースであります断層パターン 6 を対象にした分析追加解析により、組み合わせ評価の、
00:02:21	妥当性を示せると考えておりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:24	一方、それ以外の断層パターン 5 から 8 については現位置の位相の変動を考慮した場合に、川白戸ピークが重なり性が大きくなるという可能性がありますので、
00:02:35	断層パターン 5 から 8 を対象に分析追加解析をする方針に変更してございます。
00:02:42	また指摘事項の水位上昇側の具体例についてです。一つ目の矢羽根というところで、川白の組み合わせ時間範囲において、地震津波の第一波、または第 2 はピークが生じる波源を特定して示すこと。
00:02:57	その上で、組み合わせ後の津波水位が高くなる波源について波源のパラメータを変更した場合の影響を考慮して検討することの回答としましては、
00:03:07	既往の分析結果を踏まえまして地震津波の大%または第 2 版のピークの位相水位に及ぼす影響をまず整理しております。
00:03:16	その上で、組み合わせ評価の最大ケースを示すのに必要な追加解析というところで、矢羽根で示してますフローで検討しております。
00:03:25	概略パラメータスタディとしましてまず位相に影響を与える断層パラメータであります東西方向位置と矩形くの字モデルの変動を考慮しまして、組み合わせ時間範囲において、
00:03:37	一般にはピークが生じる波源を特定した上で、ピークの水位が大きくなる波源を選定していきます。その後詳細パラメータスタディとしまして、アスペリティ位置と断層面上縁深さ
00:03:49	の残りの断層パラメータの変動を考慮しまして、ピークの水位が大きくなる波源を選定していきます。
00:03:55	そして最後に組み合わせの評価を実施しまして敷地に対する影響を確認するという検討をしております。
00:04:03	また指摘事項の三つ目の矢羽根になりますが、川白第一波に加えて第 2 版による影響を示すこと。
00:04:11	こちらに対する回答としましてはまず、川白単独の水位時刻歴は形より、第 2 版の影響が小さいことを示します。
00:04:19	その上、その上で、第 2 は第 2 は組み合わせの評価を実施しまして、川白に影響が小さいことを定量的に示すという方針でこちらは、
00:04:29	補足説明資料の 4 章にまとめております。
00:04:33	最後水位下降側に対する回答です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:36	こちらは水位上昇側の評価と異なりましては元の入れかわり、主要な断層パラメータの変更が発生しないというところで、組み合わせ後の水位下降側の評価に影響の大きい波源が選定されているものと考えております。
00:04:50	また耐津波設計の施設評価に対して、安全側の評価となるように、保守性を考慮した時間の最大ケースを水位下降側の基準津波として設定することから、
00:05:01	松井加古側の評価は妥当であると考えております。
00:05:06	続いて3ページ指摘事項34番についてです。
00:05:10	指摘敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定について、先行サイトの評価例、防波堤の有無分けて波源を選定しているというところを参考にした上で、
00:05:22	泊サイトの特徴を踏まえた考え方を整理することを、
00:05:26	こちらの回答としましては、
00:05:28	先行サイトの検討状況、地形モデルごとに最大ケースを基準津波選定しているという検討状況を参考にしまして、泊においても地形モデルごとの最大ケースを、敷地に対して大きな影響を及ぼす波源、
00:05:42	として選定する方針を考えております。
00:05:45	以降、
00:05:47	上昇側のついて4ページ以降で説明させていただきます。
00:05:52	5ページをお願いいたします。
00:05:54	この5ページでは事前整理の位置付けというところで、津波の特徴についてまとめた資料となっております。
00:06:01	一つ目の○ですが、泊発電所の地震に伴う津波については、波源からの入射は第一波に加えて、岩内から岩内側からの反射は第2は発生しまして、
00:06:14	この第一波と第2は、二つのピークが連続して発生するという特徴がございます。
00:06:20	また川白については、地震以外の津波としては水位が大きく、発電所への到達時間を踏まえますと、地震津波の第一波のピーク第2版のピークと、
00:06:30	川嶋のピークが重なって水位が大きくなる可能性があるという特徴がございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:36	そこで地震津波の第 1、第 2 は、と川白組み合わせ評価を実施しまして水への影響を確認していくという方針でございます。
00:06:46	続いて 6 ページをお願いいたします。
00:06:52	地震に伴う津波の水位上昇側の最大ケース、こちらは具体的な断層パターン 6 のケースになりますがこちらの組み合わせ評価の結果、
00:07:02	地震津波の第一波のピークと第 2 はピークの間、川白の第一波のピークが重なるような結果となりまして、水位が大きくならなかったという結果になりました。
00:07:13	一方この状況を踏まえすと、地震津波の第一波のピークと第 2 版のピークと川白の第一波のピークは重なる場合には、増井の対象に影響を、可能性があることを示唆しているものと考えております。
00:07:26	以上を踏まえまして地震津波の上昇側の最大ケース以外、具体的には断層パターン 6 以外の影響を確認するための組み合わせ評価を実施するという流れです。
00:07:38	続いて 7 ページをお願いいたします。
00:07:42	藤区長は地震津波の最大ケースであります、断層パターン 6 の結果を用いた組み合わせ評価の結果を踏まえて、断層パターン 6 以外と川白の組み合わせ評価を実施していきます。
00:07:54	追加の組み合わせ評価においては、各断層パターンの第一波のピークと川白の第一波のピークの重なり方を確認するために、
00:08:03	概略パラメータスタディを実施しましてピークが重なるケースを特定した上で、詳細パラメータスタディを実施してっております。
00:08:11	ここで追加の組み合わせ評価の着目点というところですが、まず第一波の組み合わせ評価においては、
00:08:18	波源位置を発電所から遠くした場合に、位相が遅くなりまして、津波が発電所に遅く到達していくというところから、第一波のピークは組み合わせ時間範囲に入る可能性がございます。
00:08:31	また逆に第 2 はの組み合わせ評価においては、発電所の波源位置を比較した場合に、位相が速くなって第 2 版のピークと河島の第一波のピークの組み合わせ時間範囲。
00:08:42	入ってくるという可能性があります。この二つに着目して整理しております。
00:08:49	続いて 8 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:08:54	上段テキストボックスですが、波源の位置が位相に影響することを踏まえまして各断層パターンの移動量については、日本海島縁部の範囲。波源の設定範囲を考慮して整理いたしました。
00:09:08	また既往の結果から、波源が発電所に近づけにつれて水位が大きくなるという傾向を踏まえて、日本海島縁部を網羅できる移動量内、敷地に近くなる移動量のケースを、水への影響が大きくなる波源として検討対象としてパラメータスタディを実施しております。
00:09:25	なお、断層パターン1から4の扱いにつきましては、断層パターン5から8をそれぞれ西方向へ25キロずらした。
00:09:33	同じ断層パターンの波源であるということから、この断層パターン5から8を東西に移動させた検討を実施することで評価を代表させております。
00:09:43	下側にフロー図で書いております。大きい流れとしましては、一番左側に既往の解析結果を用いた分析推定をまず実施しております。
00:09:53	それを踏まえた上で、中央の地震に伴う津波単独の追加解析を実施しております。
00:10:00	その後組み合わせ評価の追加解析をやっていくと、こういった大きい流れになります。
00:10:06	具体的な内容としまして一番左側の既往の解析結果を用いた分析推定については①から④の検討を実施した上で、概略パラメータスタディの対象ケースを設定しているというところになります。
00:10:21	詳細については後述させていただきます。中央の地震に伴う津波の追加解析では、概略パラメータスタディとして矩形モデル区野地モデルの解析を実施しております。
00:10:33	またその後詳細パラメータスタディとして、アスペリティ位置と断層面上縁深さのパラメータスタディを実施していきます。その後最終的な評価というところで、
00:10:44	最後に組み合わせ評価を実施して影響を確認するという流れで検討しております。
00:10:51	続いて9ページをお願いいたします。
00:10:55	ここでは既往の解析結果の分析考察結果の概要をまとめたものになっております。ここでは概略パラメータスタディの対象ケースを説明するものになっております。
00:11:06	またこちらの概要の資料では、断層パターン551例として整理しておりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:12	もちろん大事なところかと思いますので本編資料側で説明させていただきます。
00:11:17	資料移りまして、本編資料 200 ページもの、
00:11:22	73 ページからお願いいたします。
00:11:35	本編資料の 73 ページでは既往の分析結果のうち、東西方向位置の影響について整理した資料になってございます。
00:11:44	まず移送の影響への整理というところですが、東西方向位置と発電所の距離に応じて津波が発電所に到達する時刻、移送に影響を与えることを確認しております。
00:11:55	以上より各断層パターンについて東西方向位置の変動を考慮する、概略パラメータスタディの検討対象としております。
00:12:02	こちら中央の。
00:12:04	グラフのところに、断層パターン 5 から 8 についてそれぞれ整理しております。それらを西方向に 15 キロずらしたケースのは形を並べております。
00:12:16	例えば一番左の断層パターン 5 で言いますと、断層パターン 5 の西井 25 キロというものが断層パターン 1 に該当しまして、こういった断層パターン 5 西に移動させた検討で、評価が代表できると考えております。
00:12:32	これはピークの位相差を見ていきますと、150 秒ほど位相がずれているというところがどの断層パターンでも確認できます。
00:12:41	結論ですが下の矢印移りまして、東西方向位置を 25 キロメートル変動させた場合には、水位時刻歴は系の位相が 150 秒ほど変動いたします。
00:12:52	結構 5 キロメートルごとで換算しますと 30 秒で、9 キロメートル変動させますと 30 秒位相が変動いたします。
00:13:00	これらを踏まえた上で以下の手順で東西方向位置の変動量を設定しております。
00:13:05	①で地震の発生範囲をまず整理しております。その後ピークが重なる範囲の推定で最後に概略パラメータスタディの対象ケースという流れです。
00:13:16	ページめくっていただいて、74 ページ 75 ページを見開きでご覧ください。
00:13:24	こちらは東井戸というところで、大地震津波の第 2 はのピークを対象にした検討の位置付けとなっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:33	こちら表中、断層パターン5から8についてそれぞれまとめております。
00:13:38	一番上段では、①で地震の発生範囲をまず整理しております。
00:13:44	このうち断層パターン5を用いて説明させていただきますと、日本海島縁部の範囲というものが地震津波の審査の中で説明したものになっておりましてこちらを網羅できる移動量、
00:13:55	地震の発生範囲というものが、断層パターン5-1から西へ25キロから東へ30キロまでずらすと、この日本海東名等縁部の範囲を網羅できるというところで、
00:14:07	この範囲で地震が発生するものと考えております。
00:14:11	ちょっと横方向に見ていただくと段差パターン、5から8で最初の位置が違うというところで、断層パターンごとに、東西の移動量が、この地震の発生範囲の整理では異なっているという結果になっております。
00:14:26	74ページの中央ですがまずピークが重なる範囲の推定というところですが、この地震に伴う津波の第2はのピークを、かわしらの組み合わせ違う範囲に入れるために、
00:14:37	東西の移動量を検討したものになっております。この葉系から移動量を整理しておりまして、断層パターン5の例で言いますと、第2はピークの位置から、
00:14:48	東方向へ25キロから45キロ、ずらすことによって、この組み合わせ時間範囲にピークは入ってくると、いうことを整理しております。
00:14:58	その一番下のものが、地震の発生範囲と。
00:15:04	ピークが重なる範囲のラップする範囲というところで、地震の日本海等への反映を考慮した上でのピークが重なる範囲を整理したものになっております。
00:15:14	断層パターン5で言いますと東に15キロから30キロの間でピークが重なると推定しております。
00:15:21	と断層パターン6については、地震の発生範囲が、
00:15:25	狭いというところで、ピークは重ならないという結果になりますと断層パターン7については東栄治5キロメートルのピンポイントで重なると推定結果になっております。断層パターン8についても重ならないという結果になります。
00:15:40	これらの結果を踏まえまして、75ページで、
00:15:44	概略パラメータスタディの対象ケースを整理しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:48	と断層パターン 5 の例で言いますと、②のピークが重なる範囲の推定のうち、最も東に位置した場合、
00:15:57	2 第 2 はピークの水位が大きくなると考えておりますので一番東に寄せた条件であります断層パターン 5 は東 30 キロを検討対象ケースにしております。
00:16:08	断層パターン 6 については、重ならないため検討対象としない。
00:16:12	断層パターン 7 は東へ 15 キロで断層パターン 8 については、衛藤推定結果では重ならないとしておりますが、念のために、定量的に重ならないということを示すために、
00:16:24	一番東に寄せた条件で重なりやすいだろうというところで、東へ 15 キロのケースを検討対象にしております。
00:16:33	また、右下のところに、
00:16:35	江藤第 2 版のピークの東西の移動量のパラスタ結果を整理しております。
00:16:42	こちらから古野は計並べておりますが、
00:16:46	こちらの図面の左に行くほど、東に移動させるほど、この第 2 版のピークの水位が大きくなって、かつ位相も速くなっているというところがありますので、
00:16:56	そういった観点から一番東に寄せたケースが、
00:16:59	組み合わせ評価上厳しくなるという観点から一番東に寄せたケースを検討していると言う位置付けになります。
00:17:07	また左下のテキストボックスですが、これらのまとめというところで、組み合わせ時間範囲に重なる東への移動量のうち、最も東に位置する場合に第 2 はピークは水位が大きくなって保守的な、
00:17:20	条件設定となります。以上より、組み合わせの時間範囲に重なる東への移動量のうち最も東に位置するケースを検討対象としております。
00:17:31	次の 76 ページ 77 ページ。
00:17:34	先ほどまでは東井戸の場合まとめておりましたが、7677 では西井戸の場合を整理したものになっております。
00:17:42	こちらも同様な手順で整理しておりますして、一番上段の地震の発生範囲、
00:17:47	については東西同じ考え方ですので東西の移動量の規定は一緒となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:53	ピークが重なる範囲の推定の仕方についても、葉系を用いて第一波のピークから西へ何キロずらすと重なるかというところを整理しております。
00:18:03	このラップする範囲というものを、76 ページの一番下で整理しております、断層パターン 5 で言いますと、西から 35 キロ、35 キロ。
00:18:14	から西へ 20 キロの間で重なる。
00:18:17	断層パターン 6 で言いますと西から西へ 35 から 20 キロ。
00:18:21	断層パターン 7 で言いますと 2c35 キロ、断層パターン 8 は西縁 50 キロから 35 キロ。
00:18:28	という結果になっております。
00:18:30	それを踏まえた上で、概略パラメータスタディの対象ケースを 77 ページで整理しております。
00:18:38	と重なる範囲が、ある程度幅を持っているというところで、
00:18:42	この東西の移動量のうち一番東に位置する場合というところで、76 ページの範囲から一番東に移動させたものを 77 ページで整理しております。
00:18:52	その結果断層パターン 5 は西へ 26 文西へ 20、
00:18:56	浅田 7 と 8 は西井 35 キロというケースを対象にしております。
00:19:01	こちら右下のは形で見えていきますと、このピンクの組み合わせ時間範囲のうち、一番左側に位置するもの。
00:19:09	重なる条件のうち一番水が大きくなる条件というところで、こういった組み合わせ時間範囲の左側に入るようなものをねらっているというところが西井堂のケースの整理となります。
00:19:22	左下のテキストボックスに結論をまとめておまして、こちら東も西も同様なんですが、
00:19:28	組み合わせ時間範囲に重なる西井への移動量のうち最も東に位置する場合に第一波のピークの水位が大きくなって保守的な条件設定となります。
00:19:38	以上よりこの重なる範囲のうち一番東に位置するケースを対象としております。
00:19:44	その下補足で小さい字で書いておりますが、東西と、
00:19:49	東西の移動で違いがありまして考え方については同様であります。
00:19:53	東方向の移動量については主に①の地震発生範囲の整理によって設定されております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:19:59	一方西方向への移動については、主にピークが重なる範囲は形を見た上で、どの範囲で重なるかという結果によって設定されております。
00:20:11	続いて最終的に 82 ページ、お願いします。
00:20:21	と 82 ページの左側のフロー図に東井戸の場合、右側のフロー図のところに指導の場合をそれぞれまとめております。
00:20:29	その上段中央の概略パラメータスタディの検討対象ケースというところで、
00:20:35	と整理しております。
00:20:38	検討対象ケースとしましては断層パターン 5 から 8 とあと、矩形モデルと区野地モデル。
00:20:44	の掛け算で整理したものを対象にしております。
00:20:48	それぞれ先ほど説明した東西の移動量を 1 ケースとして検討することを整理しております。
00:20:55	先ほどまでの説明で矩形モデルを主に説明しておりまして、ここで黒字モデルについても、それぞれ異なる移動量に設定しておりますのでその内容について説明させていただきます。
00:21:08	まず 83 ページお願いします。
00:21:12	まず東への移動量の観点でくの字モデルをどのように設定しているかという資料になります。
00:21:19	まず矩形モデルと区野地モデルでは、日本海島縁部の範囲を網羅できる移動量というものが、下の表でまとめてます通り、それぞれ移動量が異なっております。
00:21:31	この東への移動については、この地震発生範囲で規定されているというところを踏まえてくの字モデルについても、一番東野瀬田条件というところで、
00:21:41	それぞれ設定しております。
00:21:44	続いて 84 ページお願いいたします。
00:21:49	徳野地モデルの西縁方向への移動量の設定になります。
00:21:54	特区系モデルと区野地モデルの違いによって、間葉系としては約 60 秒の位相差がありますので、この位相が合うように区野地モデルの西への移動量を設定しております。
00:22:06	具体的には、矩形モデルの 2cm あるキロメートルというものが、区野地モデルの 2cm あるキロメートル-10 キロメートルの関係がありますのでそういった設定にしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:19	こちら、追加解析結果よりも、モデルと区野地モデルの磯があることを確認しております。
00:22:26	こちらページ飛びまして134ページお願いいたします。
00:22:41	こちら134ページはちょっと結果の先の説明になってしまうんですが概略パラメータスタディの結果をまとめたものでして、
00:22:49	断層パターン5登録についてここでは整理したものになっております。
00:22:55	ここで、
00:22:56	中央には境界ておりまして、実線は矩形モデルは千賀区野地モデルになっております。色の違いが断層パターンの違いでして、実線と破線の違い、矩形モデルと黒字モデル。
00:23:09	の違いを見ていきますと、この
00:23:12	東西の移動量-10キロメートルくの字モデル設定することによって位相が合うような結果を終えております。こういった観点でくの字モデルの西の移動量を設定しております。
00:23:24	ちょっと概要の資料に戻りまして、10ページ、お願いいたします。
00:23:38	等概要の10ページ11ページでは概略パラメータスタディの結果をまとめております。
00:23:43	と10ページでは比嘉指導の観点、11ページでは2指導の観点でそれぞれまとめております。まず10ページからお願いします。
00:23:52	概略パラメータスタディでは、断層パターン、東西方向位置及び矩形くの字モデルの変動を考慮しまして、河瀬ら一般の組み合わせ時間範囲において、
00:24:02	地震津波の2羽のピークは発生する波源を2ケース特定しております。
00:24:07	この特定した波源からピークの水位が大きくなる2ケースを詳細パラメータスタディの対象として選定しております。
00:24:15	こちらは右側にや、八つの箱で示しております、
00:24:20	この破線で示してるところについては、
00:24:23	左側の注釈書いておりますが、既往の解析結果、
00:24:29	段差パターン6については東井戸佐瀬滝様の組み合わせ評価より、川白の一派と地震津波の2羽のピークは重ならない結果入られておりますので検討対象外としております。
00:24:40	残りの六つについて概略パラメータスタディをやりましてその結果というところで、この赤枠で囲ったケースが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:47	この組み合わせ時間範囲にピークが発生するケースというところで特定しております。
00:24:53	続いて 11 ページをお願いいたします。
00:24:58	こちらと同じような考え方で断層パターン 5 から 8 について矩形モデル区野地モデルの八つのケースを検討しております。
00:25:07	こちらについては、黄色でハッチングしておりますが谷津のケースすべてについて、組み合わせ時間範囲において第一波のピークが発生する波源。
00:25:16	というところで、八つのケースすべてが選ばれております。
00:25:20	このうち、ピークの水位が大きくなるケースというところで、赤囲みで示しました断層パターン 6 から 8 の黒字モデルのケースを、
00:25:29	詳細パラの対象ケースとして選定しております。
00:25:34	続いて 12 ページ 13 ページをお願いいたします。
00:25:40	こちらは詳細パラメータスタディをまとめておまして、
00:25:44	当実施した内容としてはアスペリティ位置を D から EF。
00:25:48	まで 10 キロメートルピッチで検討したものでまた断層面上縁深さを 0 キロメートル 3 キロメートル 5 キロメートルで検討しました。
00:25:57	その結果右側の赤枠で囲っているケースが、それぞれのアスペリティ位置断層面上縁深さが厳しくなる条件として選定したケースになっております。
00:26:08	これらのケースを組み合わせで評価を実施しております。
00:26:13	14 ページをお願いいたします。
00:26:18	14 ページは組み合わせ評価のうち東井戸の結果をまとめたものになっております。
00:26:24	こちら防潮で前面上昇側から、3号取水口 12号取水口放水高の四つの評価地点に対して、健全地形モデルから、防波堤参照③の四つの地形モデルで、
00:26:36	全部組み合わせの 16 ケースの最大ケースをそれぞれ示しております。
00:26:42	この結果を見ていきますと、断層パターン 7 のケースがすべて選ばれておましてこの組み合わせが一番水位が大きくなる組み合わせと。
00:26:50	いうところで敷地に最も影響を及ぼす波源として選定しております。
00:26:56	続いて 15 ページが、は形を確認したものになっております。
00:27:01	組み合わせの対象ケースについては右上の三つのケースを対象に検討しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:08	こちらは計図見ていきますと、左から3号取水口中央12号取水口右側放水高、
00:27:16	上段が地震に伴う津波、下段が組み合わせ結果という整理になっております。
00:27:22	上段の地震に伴う津波の組み合わせ時間範囲、ピンクの破線の内側に、第2班のピークの水位が発生しております。
00:27:31	この水位が最大になるものというところが断層パターン7になりまして、こちらを組み合わせることによって、組み合わせ評価の最大ケース、
00:27:39	になっております。
00:27:42	一番下のテキストボックスは結論になりまして、断層パターン7は以下の波源の特徴があります。
00:27:48	地震に伴う津波としては、組み合わせ時間範囲において第2班のピークの水位が一番大きくなる波源になっております。
00:27:56	組み合わせ評価では、川白の一般のピークと地震津波の2羽のピークが重なって水位が最大になっております。
00:28:05	ここまでが東井戸のまとめになります。
00:28:08	それで16ページお願いいたします。
00:28:12	こちらについては西移動についてまとめた結果になっております。
00:28:16	上段が西井戸の結果をまとめたケースで、比較する形で下段に、先ほど説明した東井戸の、
00:28:24	川白一派と地震津波に歯の結果を比較しております。
00:28:29	下のテキストボックスですが、川白の一派と一般地震津波の一般の組み合わせの最大ケースについては、柱一派と地震津波の2羽の東井戸のケースと比べて、
00:28:41	小さくなるというところを確認いたしました。
00:28:45	ここで注釈で書いておりますが、防潮で前面上昇側については、その通りになっておりませんので補足説明資料の6章のところで詳細を説明しております。
00:28:56	続いて17ページが8Kを確認したのになっております。
00:29:02	こちら先ほどの東移動の場合と同様でして、このピンクの組み合わせ時間範囲において、一般のピーク地震津波の一般のピークが大きくなるものを選定してそれを組み合わせ評価した結果をまとめております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:17	その結果、下は白井っばと地震津波の2羽の東井戸の最大ケースよりも影響が小さかったというまとめになっております。
00:29:28	ここまでが上昇側のまとめとなりまして、18ページ以降で下降側についてまとめております。
00:29:36	59ページをお願いいたします。
00:29:40	根井区長令和5年の4月27日の耐津波設計方針のプラント側の審査の説明を踏まえた上で、基準津波側の評価について説明させていただきます。
00:29:52	プラント側の説明内容としては、プラント側の資料を再掲してる形ですが、下段のところに回答というところで、
00:30:00	プラント側としては一時的な水位上昇による水位回復を見込まない貯留堰を下回る時間の評価、容量の比較、処理的な容量の比較。
00:30:09	が一時的な水位上昇による水位回復を見込まないことで、保守性を有する評価方法でありますので耐津波設計における基準適合上の評価方法として選定しております。
00:30:21	次のページ20ページ、こちらもプラント側の説明内容になっておりまして、
00:30:28	具体的な評価というところで、
00:30:31	中央の右側に書いておりますが、保守性を考慮した時間。
00:30:35	という評価を用いて整理していくというところになっております。
00:30:40	それで21ページをお願いいたします。
00:30:44	21ページ以降から基準津波の説明内容となっております、保守性を考慮した時間を反映した再評価についてです。
00:30:54	評価項目に保守性を考慮した時間を追加しまして、以下の再評価を実施しております。
00:31:01	3ポチの地震に伴う津波単独の評価から、
00:31:05	その最大ケースを対象にした組み合わせ評価というところで5.1から5.4のケースを再評価実施しております。
00:31:14	また、評価項目の変更というところを中央に書いておりましてその後、右側のところに、各評価項目と評価目的を整理しております。
00:31:25	この注釈で書いておりますが、3号取水口の下降量の最大ケース。
00:31:30	下回り継続時間パルスを考慮しない時間については、
00:31:34	これらの最大ケースは基準津波として選定しないことをここで明記しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:39	また保守性を考慮した時間については基準津波として選定することを宣言しております。
00:31:46	続いて 22 ページをお願いいたします。
00:31:51	等は下の入れ替わりの確認というところで、保守性を考慮した時間について組み合わせ後の水位下降側の評価に影響の大きい波源が選定されているかどうかを確認しております。
00:32:03	地震津波の最大ケースと、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の最大ケース。
00:32:09	チラーにおいては下の入れ替わりが発生したかどうかを整理しております。
00:32:14	この下段がまとめですが、地震津波の最大ケース、組み合わせの最大ケースとともに断層パターン 7 のケース、
00:32:21	が選定されております。
00:32:24	ここで健全地形モデルの組み合わせ最大ケースとして断層パターン 6 の波源が一部選定されておりますが、地震に伴う津波の最大ケース、断層パターンなの。
00:32:34	組み合わせ結果と同等の評価値であることを確認しております。
00:32:39	これを踏まえて、以上より、波源の入れ替わり、主要な断層パラメータも平均変更は発生していないというものを考えております。
00:32:49	最後の説明事項というところで、23 ページ以降で、
00:32:54	指摘事項 No. 34 番の敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定方法に関する説明の概要となります。
00:33:03	24 ページは上昇側についてまとめております。
00:33:07	先行サイトの検討状況、地形モデルごとの最大ケースを基準津波に選定しているというところを参考にしまして、
00:33:15	地形モデルごとの最大ケースを敷地に対して大きな影響を及ぼさ元として選定しております。
00:33:21	ここで 4 地形モデル四つの評価項目、上昇側の四つの評価項目の全部で 16 の最大ケースに対して、一部の最大ケースが重複している、同じ波源が選ばれているというところで、
00:33:35	派兵 A から H-8 波源が選ばれております。
00:33:41	また、中央に米印書いておりますが、防波堤の損傷を考慮した地形モデル②止まれさん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:47	については、泊発電所の特徴は様々な方向から津波が遡上するという ことに対して、水位が大きくなる波源を選定する目的で検討してきたとい うところを補足しております。
00:34:01	25 ページが、
00:34:03	24 ページのまとめたものに対して、波源 A から H に着目して、防潮て 前面上昇側から放水工の評価値を四つの地形モデルで整理したものにな ります。
00:34:19	続いて 26 ページが下降側の整理となります。
00:34:27	藤さんが取水口加工側の水位変動量の最大ケースについては、取水口前 面に貯留堰を設置することで取水性を確保するため、保守性を考慮した 時間の最大ケースを選定することで代表させております。
00:34:41	貯留堰を下回る継続時間パルスを考慮し、しない時間の最大ケースにつ いては、
00:34:46	容量の評価の観点から保守的な評価となるように保守性を考慮した時間 の最大ケースを選定することで代表させております。
00:34:56	先行サイトの検討状況は地形モデルごとの最大ケースを基準津波に選ん でいるというところを参考にしまして、
00:35:03	地形モデルごとに保守性を考慮した時間の最大ケースを敷地に対して大 きな影響を及ぼす波源として選定しております。
00:35:11	こちらは原安委から例となります。
00:35:14	27 ページでは、水位上昇側と同様に波源に着目して整理したものになっ ております。
00:35:23	28 ページ、まとめになっております。
00:35:28	こちら上昇側と下降側で説明したものを一つのスライドにまとめたもの です。
00:35:33	こちらは元の A から L に着目した整理になっております。
00:35:39	同じようなものについて 29 ページで、こちらでは波源ではなくて地形 モデル評価項目ごとの最大ケースという観点から敷地に対して大きな影 響を下げ、
00:35:50	をまとめたものが 29 ページになっております。
00:35:55	これ 29 ページの朱書きで書いているもの、一番厳しくなるものでし て、こちらの朱書きで書いているものが、
00:36:04	24 ページ 26 ページの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:07	地形モデルと評価項目の星取表の最大ケースと同じ数字でリンクしております。
00:36:15	ちょっと説明駆け足でしたが以上とさせていただきます。
00:36:23	はい規制庁谷です。
00:36:33	調整官の発言あるよ。
00:36:36	なので、調整官お願いします。
00:36:40	はい。
00:36:41	すいません。
00:36:42	最初にちょっとお聞きしたいことがありまして、これ、私の声ちゃんと今聞こえてますから推進状況大丈夫ですか。
00:36:50	聞こえてますよ。
00:36:53	わかりましたちょっと手短かに発言します。
00:37:02	今回結果を一連のものとして上昇が下降側、
00:37:07	示していただいたんですが、
00:37:09	今回の評価結果のハイライトは何ですか。
00:37:14	というところが、実は、コメント回答資料というところに、結果だけは羅列してあって、今回何が何を説明したいのかって、
00:37:26	ということがわからなかったんですが、今回のハイライトは何ですか。
00:37:31	1分以内に説明してもらえますか、1分以内の、簡潔に説明してもらえますか。
00:37:44	北海道電力の青木です私の方から説明させていただきます。
00:37:48	とハイライトとしましては、前回の3月24日の審査会合の中では、断層パターン6という一部の形成を対象に、東西に移動させた検討、
00:38:00	の結果を説明していささせていただきました。
00:38:04	今回の資料では断層パターン5から8というところで他の断層パターンを対象に整理して、そちらを東西移動させて最大径さんを見つけるというところを説明したところになります。
00:38:15	その結果というところになります、
00:38:18	当断層パターン、地震津波の2羽の組み合わせ検討。
00:38:24	最終的な最大ケースを待っておりまして、その計算を見ていきますと断層パターン7のケース、今まで下降側の最大ケースとなっていたものになっておりましてその断層パターン7のケースが最大になってきたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:37	その検討のプロセスというところで、いろいろな断層パラメータの変動を考慮して、この組み合わせ時間範囲において、断層パターンなの第2はピークは最大になる。
00:38:48	波源パラメータを選定してきたというところが一番のハイライトと考えております。上昇側はこちらの説明となっております。下降側については、保守性を考慮した時間、
00:39:01	というところに評価を切り換えたというところになっておりまして、そちらは元の入れ替わりが発生しておりませんので、特別上昇側と違って、
00:39:10	下降側の評価としては妥当というところを考えております。
00:39:14	ちょっと駆け足でしたが以上とさせていただきます。
00:39:23	既設の名倉です。
00:39:28	今回の、例えば城清加賀。
00:39:33	今回の上昇側の評価で、
00:39:39	組み合わせの影響が現代化する時間体に入ってくる地震による津波の波源のパターンを特定した上で、組み合わせによる影響が大きなパラメータをさらに特定して、
00:39:52	影響な大きな波源とその組み合わせを再評価したと。その結果として、
00:40:00	モデル評価区分において影響が大きいとした。
00:40:04	として選定した波源は、ほとんどが大きく変更になった。
00:40:10	その結果としてパターン7。
00:40:13	が支配的な波源として、全体的に、評価結果として、特定できるようになりました。
00:40:22	それから下降側の評価については、
00:40:25	施設側の評価に整合させておりの時間評価を評価区分として再評価をできないかとか、その結果として、
00:40:36	評価区分の時間はより保守的な評価結果となって、
00:40:40	影響な大きな波源も、モデル7ということで、ある程度特定ができましたと。
00:40:46	特定した波源については、地震時から組み合わせ評価の過程において、波源が大きく変わるようなことは、上昇側とは違って下降側はそういうことはなくなりました。
00:40:58	ということなんで、ちょっと強調するところが少し結果の方に、結果の中身にずれてしまっているんですが、もう少し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:09	ポラスティ結局コメントを規制側から受けて、やり直したら、
00:41:15	多元大分変わっちゃいました。
00:41:18	上昇側については、
00:41:19	でも、
00:41:21	今回網羅的に、
00:41:25	波源妥当性を検討するためのプロセスを、より論理的にした結果として変わったのでこれが妥当なんですってということなんですけど、ここら辺の説明がないですねドラスティックに変わったってということと、
00:41:38	今回改めて、
00:41:41	ロジカルに検討を実施したので、非常に網羅的な検討になっていてその結果としては元が大きく変わっちゃいましたって、
00:41:51	そこら辺ちゃんと説明しないと、
00:41:54	これ。
00:41:55	ちょっと混乱を招くような気がします。
00:41:59	そこら辺大きく変わったってということが全然、今の資料の中には入ってなくて、例えば、
00:42:04	本体資料の 161 ページのような、
00:42:08	この図とか、対比するような今までの結果との比較も何もないし、大きく変わったってということを、に関してこれちゃんと言わないとわからないですよ。
00:42:19	そこら辺がちょっと、
00:42:21	何が説明したいのかって結果だけを説明して、
00:42:25	その結果が今までの結果とどう違うのか。
00:42:29	ドラスティックに変わってこれが本当にいいのかなどうか。
00:42:32	ていうことが、読み取れないんですが、この辺、ちょっと資料の作り方、説明の仕方だと思うんですが、
00:42:44	ちょっと明確にした方がいいと思いますがいかがでしょうか。
00:42:52	北海道電力奥寺です。
00:42:54	今回いろいろとコメントを受けて、
00:43:00	論理的な、今までのデータから考えて論理的といいますか、どう、どうという検討が、敷地に大きい波源を選ぶ上で重要かっていうところを考えた上で、
00:43:12	実施しました。そのを考えている考え方、そういうことをやったということや、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:20	確かに今出てきた結果っていうのが要はの方で、説明させていただき ましたけれども、
00:43:27	結果が今までと比べてどういったという観点では、ダイジェスト版とか では触れていないような気がします本体の方も整合させねばならないな と思いますので、
00:43:38	その辺の我々が考えた、
00:43:41	流れ、結果、
00:43:45	今までとどう変わった等について少し明確になるように、
00:43:51	資料を
00:43:54	ブラッシュアップ。
00:43:55	したいなとか考えます。以上です。
00:44:03	名倉です。規制庁名倉です。
00:44:06	非常に、
00:44:08	生真面目になり過ぎて、一つ一つを丁寧に説明を、概要とかでしようと すると、非常に煩雑に逆になってしまうので、
00:44:17	概要っていうのは、
00:44:20	方針。
00:44:23	を説明してその方針、
00:44:26	に基づいて評価した結果がどうなったのか。
00:44:31	これをまず、ちゃんとわかるようにしていただけると、いいのかなと。 そういう意味で、
00:44:42	という罰金を今までの経緯を書いてるんだけど、もう、逆に言うんです ね、概要のところはもう、
00:44:53	ですかね。
00:44:54	ある時間対2、第一波の地震によるピークと第2はによる、第2表のピ ーク。
00:45:00	ここら辺、ちょっと何て言うのかな、波源を特定するために近づけるっ ていうアプローチをした上で、元を特定して、
00:45:10	そそこの波源に対して影響の大きな所、詳細なパラメーターとパラメー ターを特定してっていうなんかそういうふうな、少し概念的な方針的な 説明をちゃんと
00:45:22	簡潔にした上で、
00:45:26	ある時間体に入ってくる波源のパターンはこれとこれとこれを抽出し て、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:33	その結果それに対して詳細パラメータスタディで特定した結果としてこうなりました。
00:45:40	それは今まで特定した結果と横並びに比較すると、
00:45:44	大分絞られてきました影響が大きいものが、前はちゃんと抽出できて絞られているので、まあまあさんになりましたということだと思んですけど、何かそういったところがもう少し、
00:45:59	簡潔にわかるように、説明した方がよくて途中。
00:46:03	あまり細かいところは逆に、
00:46:06	本体資料の方に落としてしまってっていうことをしていただいた方が、方針と結果、
00:46:13	その結果を見せる中で、今回のハイライトは何なのか、今回、その結果として何が説明したいのかというところが浮き彫りになるような資料で、
00:46:24	説明してもらえれば、より何て言うのかな、審議が落ち着くんじゃないかなというふうにはちょっと感じました。
00:46:35	ちょっとここら辺少し、もう少し洗練させた整理が、
00:46:39	あると、審議がスムーズにいくんじゃないかなという気がちょっとします。
00:46:44	結果としては安定度そろってるように、
00:46:49	私は感じてるんですが、
00:46:51	感触が本当に正しいかどうかについて、
00:46:57	それは、概要とかではなくて今回資料に、いかにこう整理をするかっていうことだと思います。
00:47:05	以上です。
00:47:09	北海道電力奥寺でございます。我々の考えた、必要な考え方、細かい部分も含めますけどもそういったものは、きちんと資料に、本体になろうかと思えます補足資料とかですね。
00:47:23	なろうかと思えますけどその整理はその整理できちんとやっていきたいと思えます。一方で、
00:47:29	方針出てきた結果、
00:47:32	その結果の、我々がお示ししたい考察等のところが端的になるように、概要でコンパクトにまとめられれば、良いかなと今農地事実確認のやりとりを踏まえてそう思いましたので、
00:47:46	その方向で検討したいと思えます以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:55	はい、わかりましたよろしく申し上げます佐瀬私の方で最初にちょっと 言わせていただいたのは、
00:48:01	説明で、
00:48:03	何を、
00:48:04	重点的に、
00:48:07	言わなくちゃいけないのか。
00:48:09	というところをもう少し明確にして、わかりやすい資料で説明してくだ さいということでした。
00:48:17	これはちょっと今後、意識として、重点化した上で、
00:48:22	修正をいただけるということで理解しました。私からは以上です。
00:48:30	はい。わかりました。谷です続いて私の方から確認していきたいと思 います私の方もですね今名倉調整官の
00:48:39	コメントとちょっとダブるようなところがあるんですけど出だしはです ね、これ、結構、
00:48:46	複雑な検討をされていると、条件を分けたりしてやってるところ、こう いった判断をですねいかにわかりやすく説明するかっていうのが、
00:48:57	大事だと思ってて、やっぱりそういう目で、この概要版を、
00:49:02	概要版を作ってくれてるっていうのは大変助かるありがたいんですけれ ども。
00:49:08	その概要版読んでいくと、本当にこれやってたことがちゃんと説明でき てるんかなって思うようなところが結構あると、或いは検討のなんてい うんですかね前提条件みたいなのところも、
00:49:21	もう少し丁寧に説明した方がいいんじゃないのかなと、そういった思う ようなところがある、或いは、今調整官言ったように大事な結果がここ の方、
00:49:33	概要版に入っていないんじゃないのかと。
00:49:36	多分それはさっき結果の話もありましたけど、どう、どこの波源がま ず、
00:49:43	どこに波源位置があると重なるのかとかいう、そのコメント回答にこ う、こうぴったり答えてるような部分がですね、何か抜けてるような気 がすると。
00:49:54	或いはこの概要版でこうやって整理するんだったら、
00:49:58	コメントの中の川白の第1版に加えて第2版による影響も示すことって いうようなこともですね、全部これしっかりと概要版だけでも、もう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:09	何か今日の説明ってのはこういうもんなんだよっていうのがわかるように、
00:50:12	していただけたらなというのが最初の行、お伝えしたいこと。
00:50:18	ですけれどもそれはさっき調整官とのやりとりもあったんで、多分、
00:50:24	確認するようなことでもないかなと思ってます。
00:50:29	根井。
00:50:32	多分僕これ、我々はわかるんですけれども、前段にこの日本海島縁部っちゅうのはどんどういう波源を設定しているのかみたいな、
00:50:44	この要するにこの後、50キロの幅、プラスアルファの幅だったら、派遣っていうのはこう置けるんだよと、青木さん口頭ではそれ説明してたはずなんでさっき、
00:50:56	そういう考えのもと、こういう今回の検討をやる必要があるんだよっていう話でこういうのも多分いるんだと思いますし、
00:51:07	そうじゃないとですね何で波源を移動させて、移動量のケースとかこうなんかいろいろ出てくるんだけど、その辺の話が繋がっていかないんじゃないのかなと。
00:51:17	思うのと、
00:51:19	あと何か前提条件条件で何かこれ5キロピッチって何かあるんですよね派遣は5キロピッチで動かしていきますよとかそういうのも
00:51:30	ちゃんと条件としては説明していただきたいなど。
00:51:34	いうふうに思いました。
00:51:36	もし5キロじゃないんだよとかいう話があるんだったら、答えてもらってもいいんですけど、なければ続けますよ。
00:51:44	で、
00:51:46	8ページなんですけれども、
00:51:49	これが今回の検討の内容ですと、で、
00:51:52	これ僕、辿っていくと。
00:51:56	何かやっぱりこうつまずいてしまうんですね資料こう見ていくと。
00:52:01	何が何がこうつまずくのかというのを考えたら、
00:52:07	なんかですね文章がまずちょっとわかりにくいのと、
00:52:13	ええ。
00:52:15	例えば①は元の、①の前に、
00:52:20	既往の解析結果を用いた分析推定。
00:52:24	追加解析、追加解析とか言ってるんだけど、結局これって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:31	別に既往の解析結果を持ちようが用いまいが今回ちゃんとう、
00:52:37	一気に通貫でちゃんと説明。
00:52:39	できればいいことなので、これ本編にもあるんですけどね、既往の分析結果とか、
00:52:45	そんなのあんまり関係ないかなと思っていますんで、
00:52:49	例えば①の波源設定範囲の確認。
00:52:55	断層パターン、各断層パターンについて、日本海島縁部の範囲内での移動量を確認って言われても、
00:53:03	何を合田断層パターンについて移動量を確認とかいって言われても、これ何かピンとこないですよ多分これって。
00:53:12	へえ。
00:53:15	さっきちらっと話しましたが、波源設定可能な範囲をちゃんと説明するっていうことを言われてるんだと思うんですけども。
00:53:25	何か文章とどうかなと思うような、
00:53:28	点があると。
00:53:30	②はピークが重なる条件の推定。
00:53:37	これもね何かねえ。
00:53:41	条件とかって言われますけど、
00:53:46	ただ単にこのピークが重なるは現位置はどの範囲ですかっていう説明をするだけですよね。
00:53:54	なんかねちょっと難しく書いてて、
00:53:59	何かピンとこないんですよ。で、③④っていうのが、
00:54:04	これ、③④って、
00:54:09	ちょっとこれは確認しようか。丸さん。
00:54:14	④ってどう、どう、どういう検討になるんですかこの8ページの③④というのは、
00:54:24	当北海道電力の青木です。
00:54:26	報①と②については同じような認識かと思いますが、②の結果で、
00:54:33	東西幅をもって重なるという推定結果が出てきたと、いうところで③の概略パラメータスタディ対象ケースの選定の中では、東西の移動量である程度幅を持っている中で、
00:54:47	その中で一番東に寄せた場合が厳しくなるという条件でその東への移動量とか、西方向の移動量を設定しているというところが③の検討となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:58	一方、概略パラメータスタディを実施するにあたっては、アスペリティ位置とか上縁深さの詳細パラで実施する項目についても、ある何かしら決めないと、
00:55:10	その解析に移れないというところで回るような中で、
00:55:14	そのアスペリティと断層面上縁深さの設定というところを書いているところになります。
00:55:20	とう位置付けはこのような形です以上です。大谷ですはいありがとうございます。この④っていうのは、例えば、これね
00:55:29	P9 参照とか書いてるけどこれ本編で何か示してもらったほうがいいのになって思いました。で、④っていうのは、本編でいうとどこのことを言ってるんですっけ。
00:55:48	電力の青木です。
00:55:50	と 82 ページ本編資料の 82 ページをお願いします。
00:56:00	当庫の東西移動量を書いておまして (1) の概略パラメータスタディという白枠の箱。
00:56:07	その中で断層パターンロック経過の所は、この星取り表のように実施するところを書いておりますその下の注釈というところで、滑り T1 は店員な層面除却策をキロメートルで固定し、
00:56:21	というところのこの記載が該当するのかなと考えております。以上です。
00:56:29	うーん。
00:56:31	それは、
00:56:33	何でなんですっけ、何で D で動きどうなんでした。
00:56:50	北海道電力の青木です。
00:56:54	本編資料の立て付けっていうところで、
00:56:58	またアスペリティ位置について整理したものが、
00:57:03	79 ページ。
00:57:05	になっております
00:57:13	その中の、上段のところでは移送への影響の観点の整理というものと、中段に水への影響の観点の整理というところで、この中だと、水への影響っていうところ。
00:57:26	かなと思っております、スピーチでいいから EF において水位が大きくなるというところを確認しております、その条件というところを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:36	カラーで1というところを設定しているところになりましてちょっと資料上、
00:57:40	詳細パラメータスタディのイメージでこの水への影響の観点の整理経過書いておりました、概略パラメータスタディでどうするかっていうところを明確に書けてないところ。
00:57:51	になっておりますのでちょっと検討させていただきます。はい、谷です。刀禰そうなんですよね多分この、
00:57:59	③と④って、この資料上今私が見て思うところは③と④って、もう実は一緒にやってて、
00:58:08	何、77ページでも決めてるんじゃないんですかねとか思って確認したんですけれども、そうじゃないんだったら、これって、何て言うんですかね、④って、
00:58:22	係で置くというか、
00:58:25	そんなにここで重要でもないんだったらこのフローではもう0304一緒にしてしまっ、
00:58:32	何かそれに適切な説明をしたらいんじゃないのかなとか思いながら、
00:58:38	そこがよくわからなかったんですね。で、これはちょっと伝わるようにしてもらえたらと思いますんで、続いて、
00:58:47	これも何か、⑤、⑥っていうのがあって、
00:58:51	概略パラスタやりますよう、
00:58:54	概略パラスタやった後に詳細パラスタの対象ケースの設定しますよ。
00:59:01	言ってるんですけれどもこれ前も何か聞いたんですけど、概略パラスタって一体これ何なんですかっていうのが、
00:59:08	よくわからないんですよ。で、
00:59:12	資料読んでいくと、
00:59:16	重なるか重ならないかを確認はする。
00:59:21	さらにここであれですよね水位が高いか高くないかっていうのもこう見てるってことなんですよ。
00:59:28	だったら何か0506って何か一緒に、概略パラメータスタディなんじゃないかなとか思ったんですけども。
00:59:37	これは何か分けなきゃいけないんですかね、分ける何か分ける理由が。
00:59:44	どういう理由なのかなっていうのを確認させてください。
00:59:50	当北海道電力の青木です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:53	まず、概略パラメータスタディーについては、検討しているパラメーターとして断層パターンと東西方向位置と、算区野地モデルのパラメータについて変動しております。
01:00:04	その中で、この移送だけではなくて確かに水位の観点から大きくのあるものを選定しているというところも概略パラメータスタディの中でやってる内容でありますのでちょっと項番6番の扱いについては、わかりやすさの観点で検討させていただきます。
01:00:20	以上です。
01:00:21	井谷です。それで何か多分僕の今まで高止まりとかで見てた、概略パラスタとは何ぞやとかいう話をすると、
01:00:32	概略パラスタで、何て言うんですかねそれぞれの推移だとかこっち側、大きいこっちが小さいとかいう結果が何か出てくるものかなって思っ
01:00:43	ただけれども、
01:00:44	だから何か今は形で比べて、
01:00:49	何かこの辺の関係もですね、
01:00:53	読んでて、
01:00:55	よくわからない。これって何か値で比較するとかそんなことをしないんですかね。
01:01:10	北海道電力の青木で政党概略パラメータスタディの結果というところで、本編資料を用いて説明させていただきます。
01:01:19	同80Kは、
01:01:23	ちょっと東井戸の場合については、
01:01:25	ピークは入るものというのは89ページ、命令を説明させていただきます。
01:01:34	こちら断層パターン5から8について表を整理しております上段が概略パラメータスタディの実施対象のケースになっております。下段が結果をまとめたものになっております。
01:01:47	この東の移動の観点で言いますと、この組み合わせ時間範囲にピークが入るものというものがこの断層パターン5と7の二つ、矩形モデルの二つのみというところで、
01:01:58	もうこちら二つともう、
01:02:00	後段の検討の詳細パラメータスタディに、
01:02:04	の対象ケースにしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:06	一方その絞り込みという考え方でいるのが、西井堂の場合になっておりまして、
01:02:12	そちらのページが 123 ページお願いします。
01:02:24	こちら先ほど東と同じ構成でして上段が概略パラメータスタディの対象形成、
01:02:30	になっておりまして断層パターン 5 から 8 の矩形くの字。
01:02:34	それぞれの区間の所に応じた西への移動量のケースの八つのケースを対象にしております。
01:02:41	その結果、断層パターン 5 登録のところを見ていきますと、矩形区野地モデルともに、組み合わせ時間範囲にピークは入ると。
01:02:50	このうち、第一パン水が大きい区野地モデルの詳細パラメータスタディの検討対象に選定するというところで断層パターン 6 の黒字モデルを選定しております。
01:03:00	ここで断層パターン 5 の扱いというところですが、左の枠囲みしているところでした断層パターン 6 のは K って大きい違いがないというところを踏まえて水位が大きい断層パターン 6。
01:03:13	を対象にするというところで代表させるというところを考えております。
01:03:18	断層パターン 7 と 8。
01:03:20	については、それぞれ矩形と黒字比較した場合には、黒字の方が大きくなるというところで黒字を選んでいるというところですので 7 と 8 の比較については一概にどちらが大きいとか、
01:03:31	というのは難しいので 7 と 8 両方とも選んでいるという扱いになります。
01:03:40	はい谷です。その辺ね多分こうもう値を入れてもらった方がいいのかなと思いますんで、
01:03:48	僕これ、町長どう説明してくれたので、確認しますけど、89 ページ。
01:03:56	これ
01:03:58	これが第 2 版の話ですね、第 2 版のところでは、
01:04:02	パターン 5 パターンなのっていうのをやって、両方進むんですよね詳細パラスタに。
01:04:11	これ、これこれ見ると、
01:04:13	何か値版出てないですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:17	7と5比べると、何か後の方が大分小さく見えるんだけど、これは両方、詳細パラスタに進むと、さっき何か123ページで、
01:04:32	ありましたけど、こっちの123の方は、パターンごとパターン6の関係を見て、
01:04:39	これはパターン5はもう詳細パラスタに入れない。なぜなら、パターン6より小さいからって判断が入るんですよここで。
01:04:49	なんかねその辺の扱いが、
01:04:51	なんでこれとこれが違うのかなあ。
01:04:54	とか思って、
01:04:57	多分これあれなんですよどっち傾斜とかいう話も、何か説明されてるんだと思うんだけど、
01:05:04	根井とはいえ、何かおんなじように見ているようにこうなんか見えなかったんですけど、この辺の違いを、
01:05:15	まずど、どうしてこっちが
01:05:18	進んでこっちが進まないっていう違いがあるんですかね。
01:05:26	北海道電力の青木です。確かに傾斜方向の違いっていうところで、断層パターン5登録は似たような波源7と8は似たような波源。
01:05:37	そういった観点で整理しているっていうところもあります。ちょっと今の89ページ123ページ、あとそこが読み取れないような状況になっているところと、
01:05:48	あと、
01:05:49	西方向東方向、両方見比べた中で、
01:05:57	1、一方では、
01:05:59	代表させてもう一方では代表させないとかそのあたりがしっかり、
01:06:03	まだ考えが整理できてないところなのでちょっと考え、検討させていただきます。以上です。
01:06:10	谷です。これ、あれですよもう何かシンプルに、こういうルールで進めていくんですっていうのがわかればですね、わかりやすくなるかなと思って。
01:06:20	確認してて結局これパターン5やったけれども、
01:06:24	結局大きくなるとかいう話になっていくと。
01:06:28	すみませんなんか概要版からどんどんそろえていくんですけど、あとね、
01:06:34	あとついでにこの辺のページとして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:40	7475 でね。
01:06:45	この
01:06:47	フローでいう①から③までやったときに、
01:06:51	中東井戸ってしてる方はですね。
01:06:54	これ最後ここ、フローとしては三つ、普通にパターンが分かれててそれは何かというと断層パターンごと断層パターン7っていうのは、重なるよと。
01:07:05	いう判断をしてると、6は重ならないと判断しているし、
01:07:11	既往の評価でも、
01:07:15	もうやっているよと。
01:07:18	D8は、
01:07:21	重ならないと思ってるんだけど、
01:07:24	それでも検討しますっていう子。
01:07:26	何かすごくわかりにくくて、
01:07:30	これももう重ならないっていう判断が、
01:07:37	まず僕あのパターン6とパターン8なんて別に分けなくてよくって、
01:07:45	企業でやってるからどうのとかじゃなくてそこは並べてですね同じように説明して欲しいなっていう気持ちはあります。ただそれはどう説明されるかというのはちょっとお任せしますが、
01:07:56	なんで3パターンもいるのかなっていうちょっと思いがありますんで、
01:08:03	もうこれ重ならないって判断してるんだったら、もうこれはもう進む、進まずに、例えば確認は確認でちょっと別のところですね、補足かなんかでも入れればいいんじゃないのかなと。
01:08:17	私は思うんですよね。これ重ならないけど次に概略パラスタをやりますんでそこを次に進んでいきますっていうのが、どうも見ててですね混乱をしてしまうっていう。
01:08:29	のがあって、
01:08:32	そうでしょ重ならないと言いつつ、そっか、これは違うのか。
01:08:37	こそ乗らないと言いつつ、検討してやっぱり重なりませんでしたっていう話。
01:08:44	ちょっとねその辺をもっとシンプルに説明してもらえたらなっていうのを、
01:08:49	ちょっと希望はありますね。
01:09:00	越冬とちょっと戻りますか8ページに戻っていくと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:18	うんで、7ページ、⑦で詳細パラスタで、アスペリティ位置等、断層面上縁深さをやりますよと。
01:09:30	⑧は同一波動場で、
01:09:33	やりますよと。
01:09:39	これはだから、⑦の中で、
01:09:42	詳細パラスタをやった中でもうここで選ぶんですよね。⑧で、
01:09:48	選ぶとかじゃなくて、⑦の詳細パラスタの結果っていうのは、これが影響が大きいんだっていう、
01:09:55	そういう整理になるんじゃないのかなって思うんすよ。もっと6の関係と同じようにで、⑧は、組み合わせ評価をやりまして、僕資料を見ててそう、そういう流れなんじゃないかなと思ったんですけどそれ違うんですかね。
01:10:20	と北海道電力の青木です。
01:10:22	例えば05と6の関係で書いているのであれば、
01:10:26	⑦の下に組み合わせ評価の対象のケースの選定っていうものがあるべきではないか、そういった確認事項。
01:10:43	北海道電力青木です。東郷五島6のは、その対象実施等対象ケースを選ぶっていうフェーズで分かれてるのがわかりづらいところと、
01:10:54	それだったら7独立して、
01:10:58	8もやってくっていうような流れかと思えますちょっとここら辺わかりやすくなるように検討させていただきます。
01:11:05	うん。
01:11:05	井谷様僕言ってるのは、概略パラスタをやりますってやる目的なんですかっていう。
01:11:12	そこなんですよね。いや、やる、やってこういうのが結果ですっていうのとセットで説明してもらったほうがわかりやすくて、詳細パラスタもやる目的があって、その目的っていうのは組み合わせ評価を
01:11:25	やるのをどれを選びますかっていう目的のためにやってるんだったら、ここの中で、
01:11:31	選定しますよっていうことになるんじゃないかなとか思ったりはするんですけどもちょっとこれ、平仄が合つかあてれば、私はいいと、それでもいいと思うんですけど。
01:11:43	何となくこの辺がね、あってな、それぞれであってなくて、
01:11:51	でねやっぱりねこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:54	日本語がちょっとわかりにくいんだよなあって思うんですね丸さん。
01:11:59	この説明だとか、
01:12:04	と思います。
01:12:07	だから、
01:12:09	多分、
01:12:11	この8ページの、あと8ページの後ってだからここのこのフローで書いてるのは、実際、この資料ではどこに当たるのかっていうのを、
01:12:22	ちょっと対応を示していただいて、これはできればなんでしょうけど、ここのフローでこうなってこうなってこうなってっていうのが、
01:12:32	ちょっとさっきのあんまり複雑なことは書く必要ないんですけど、
01:12:37	その各フローでこういう結果になって進んでいくんですけどっていうのが、何かあればわかりやすいと思うんでひょっとしたら今あるのかもしれないんですけども、
01:12:47	そういうふうに思いました。とにかく今⑥が、この資料で⑥っていうのを使ってなくて、③ぐらいで諦めちゃってるので、
01:13:01	諦めてない。
01:13:03	丸さんぐらいまでしかないですよホームページに。
01:13:06	その辺ちょっと対応しっかり説明してください。
01:13:09	いうところですよ。この8ページって、僕は辿っていくマップになるようなものなので、これ大事ななと思っててそういうことを言っています。
01:13:36	ですね、僕これ、
01:13:40	すみませんでざくっと見ててわかんないところをちょっと確認していて飛び飛びになると思うんですけども、
01:13:47	何か第2派の方は、
01:13:51	詳細パラスタをやりました。
01:13:55	で、
01:13:56	詳細パラスタをやる中で、
01:14:00	何かパターンなのを二つ選んでるんですけどそこにはありました。
01:14:11	101ページですか。
01:14:28	これ何で二つ選んだのかなとって見ていくと、確かにこれ、何だっけ。
01:14:34	スピリット。
01:14:37	アスピリティ自己劣化。
01:14:39	方遂行。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:14:41	このところ、
01:14:43	103 ページで、
01:14:47	コース移行のところを見ると、20 キロ、
01:14:56	の、
01:14:57	水、水最大と D30 キロの水は同等。
01:15:03	ていうのがあるから選んでるんですけど、これがなんかね唐突に、
01:15:08	こっちは選んでるんですね。なるほどなこういうのがあるから選んだんだとか思いながら、違う子、
01:15:18	違う、これじゃない。
01:15:21	すいません。パターン 5 じゃないですねこれが 105 ページ 10 個。
01:15:26	105 ページで、
01:15:30	3 号取水口と 12 号取水口は南 20 キロが大きいんだけど、
01:15:38	放水工だけは南 30 キロが大きいよってこれが理由になってるのかなって。
01:15:45	見たんですけれども、
01:15:49	まずそういう理解でいいんですかね。
01:15:54	北海道電力の青木です。そういった断層パターン 7 の東井戸については、取水口については南二次放水コンスタ D 南 30。
01:16:05	あとそれぞれ違うケース選ばれてるから二つ選んでるっていうところが一つの理由になっております。もうそれに加えてもう一つ理由がございまして、
01:16:13	最終的な最大径推認なりそうだっていうところが断層パターン 7 の東移動というところがありまして、その最大ケースについては、
01:16:23	細かく検討していった方がいいだろうというところも踏まえて、最大ケースと、取水口と放水砲の両方を対象にしているというところになります。以上です。
01:16:34	はい谷です。
01:16:36	はい説明ありがとうございます。多分ねその辺の説明がね、抜けててわからなくて僕次に聞こうと思ってたことは、
01:16:46	何で第 2 はじゃなくて一般の方も、
01:16:51	場合によっては逆転してる関係があるんですよ。
01:17:00	そっちは選んでいいなかったりする。
01:17:05	わけじゃないですか。
01:17:07	どこだっけ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:19	例えば、139 ページとか、
01:17:30	何か他にも同等なものがあったりとか若干こう入れ替わったりするよ うなものも、
01:17:39	あるけれどもそっちは選ばなかったんですね
01:17:44	で、それを今、話を聞くと、パターン7っていうのはちょっと特別な なだっている話であればね、それは何かちゃんと説明してもらわないと。
01:17:55	これもやった方がいいんじゃないのかと。
01:17:57	で、それとはセットに、
01:18:02	何ていいのかな。
01:18:05	第一波の方はそうやってこう近しいなんていうんすかね。どっこいどっ こいな波源は選ばない。
01:18:15	買ったというのを
01:18:17	本当にそれでよかったのかなっていうのは、
01:18:20	どっかで確認できるんです。
01:18:22	どうも。
01:18:24	同等だから、こっちだけ選びましたんで、選んでない方は、最大になる ことはありませんっていうのが、これ定量的に評価をしてなさそうなん ですけど。
01:18:35	定性的に、やっぱりこれ第一波の方が圧倒的に、間違 200 台なのが、圧 倒的に大きいんですよとか、そういう説明があるのかないのかところ。
01:18:45	そういう考察めいたことってされてるんですっけ。
01:18:52	北海道電力の青木です。
01:18:55	今議論になってるのは、第一波の西移動の観点で、最大ケースに対し て、同等の形成に対して、どのような扱いかっていうところかと考 えております。
01:19:08	現状の資料上地震津波単独のは形では同等の値になっているというところ まで確認定量的な評価として確認できているところです。
01:19:18	一方、ちょっと結果からになってしまうんですが、最終的に一番厳しく なるっていう波源というのが、この第一波と第一波の組み合わせではな くて、第2はの方である。
01:19:30	ていうところがわかっておりますので、
01:19:33	今議論になって第一波ワノー。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:35	わずかな、同等になってる他のケースの影響ってのは小さいだろうというところで、ここは定量的な評価がやってないというところが、実際のところとなっております以上です。
01:19:48	うん。井谷です。多分今の聞いた説明を
01:19:52	もう少し丁寧にどっかに入れば、
01:19:54	私たちはこれ、全部、全部が全部同じようなレベルで選ばなければわからないとかそういうことを言うつもりは今んところないので、
01:20:05	その考えてることは、何か入れてもらえたらなというふうに思います。
01:20:27	概要版は、
01:20:32	こう入っていくと思うんで概要版、これ変わるんですけど、
01:20:39	見てて、
01:20:40	12 ページが詳細パラスタの結果、
01:20:49	ん。
01:20:53	これが詳細パラスタの結果なんですかね。
01:20:59	これ。
01:21:13	詳細パラスタの結果で選定しと。
01:21:18	これが大きいから選んだっていう話が 12 ページあるんですかね、何かこれ。
01:21:23	これ。
01:21:25	何て言うんすかね。
01:21:28	今度どう、どういう結果を踏まえてこうなったかっていうのが完全に抜けてるような気がして、
01:21:36	んですよねー一派と第 2 本の組み合わせ。
01:21:41	続いて 13 ページでは 1、これはただの結果をポンて載っただけなんですかね、何か、ここ、この概要で説明するんだったら、こういう結果であるのでこうなったっていうような、
01:21:54	そういう説明であって欲しいなというふうに思いました。
01:21:58	D1045 が、
01:22:01	第 2 は、の、
01:22:04	結果が一覧表と、
01:22:09	これ組み合わせ評価結果が出ていて、
01:22:13	この 3、3 ケースが載ってるんですね。
01:22:19	うん。なんかやっぱりここで僕も、何で断層パターン 51 位いるのかなとかちょっと思ったりはするんですけどそれはちょっと置いて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:30	これが結果です。第2組み合わせで、次は1067が本来第一波の組み合わせの結果が、さっきの1045と対になって、
01:22:42	乗れば、
01:22:43	わかりやすいんだけど、何かいきなり
01:22:47	第一波の組み合わせと第2版の組み合わせの比較に入るんですよね16ページかね。
01:22:53	これはねなんかね資料わかりやすくさせて多分1045とセットになるような説明を1回しておいて、
01:23:03	16ページのような内容を、
01:23:07	あれば、
01:23:09	なるほどなって思うんだろうけど、
01:23:12	結局、15ページで、
01:23:15	第2版の組み合わせ評価まとめでこう、
01:23:18	何か特徴があるって書いてる。
01:23:22	こと。
01:23:23	に対応する。
01:23:25	一般の特徴があるっていうのは、
01:23:30	これはないですよね。
01:23:32	なんかねそういう
01:23:36	基本的な何か、
01:23:38	並べ方っていうのをちょっと考えていただけたらなというふうに思うんですけど。
01:23:43	それいいですよね。
01:23:45	北海道電力奥寺です。
01:23:49	12ページとか13ページというのは、
01:23:54	検討の希望が、概略パラメータスタディ重なる範囲とかその辺かなというところが我々の中で重点がそっちの方にあるんだろうなと。
01:24:04	いうことで、
01:24:05	ちょっとこの方にはどうしてこういう結果だからどうだっていうところが、詳細パラメータスタディの矢印のアスペリティ断層面上縁深さを動かしましたっていうプロプロセスの一端ぐらいしか書いてないので、
01:24:19	その辺が、結果とともにあるとよりわかりいいというようなところが、
01:24:25	概要を作る上で簡潔にっていうところのちょうどせめぎ合い今こういうようなところになってるんで今

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:24:33	事実確認結果を踏まえてよりわかりっていうところは検討したいと思いますそれと、
01:24:39	14、1516 の関係というのが、
01:24:43	ちょっとここも、我々重点で起きたのはやっぱり東移動がでっかいなん ていうことがわかっていうところは、我々が持ち出した結果なん で、
01:24:53	そこの方が先行して頭にいつているってところの作りになってしま っているんで、まずは、
01:24:59	結果特徴どうなっているってところを踏まえて東西最終どうなるっ てというような頭の整理、
01:25:09	かなってところが今の事実確認かなと思いましたので、
01:25:13	構成とか説明の仕方とか少し検討したいと思います。
01:25:18	はい。お願いします。で、追加で言うと 12 ページのこの詳細パラスタ の何か結果表みたいなのってどっかあるんですっけ
01:25:30	どれがどう、どっちと比べて大きいとか、
01:25:36	どういう関係、大小関係って、
01:25:40	日、どんな感じになってるのかとか、微々たるものなのかそれとも、
01:25:47	119 ページ。
01:25:55	69 ページですね。ありがとうございます。
01:26:04	うん。
01:26:09	119 ページ。
01:26:12	119 ページを見ても私なんかぴんときてないんですね。
01:26:23	と北海道電力の青木です詳細パラメータスタディの結果がわかるような 資料というところで、
01:26:30	ちょっと私の方から、1 本編資料の、
01:26:35	101 ページお願いします。
01:26:45	こちら東移動の場合で掲載しております、
01:26:48	衛藤断層パターン 7 が一番重要でそんな用いて説明させていただきます す。
01:26:54	ちょっとは形小さくて恐縮なんですアスペリティ位置については、D から EF というふうに変動させてこの第 2 はピークが大きくなるものっ ていうのが D 南 20。
01:27:04	というところで整理しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:06	断層面上縁深さについてもその下段で整理しております、0 から 5 キロを振った上で、5 キロが一番大きいというところ、こちらちょっと図が小さくて恐縮なんですけどそういったところを、
01:27:17	整理しております。
01:27:21	西移動については、
01:27:25	同じようなフォーマットで、137 ページ。
01:27:34	西井井戸の場合についても整理しているところになります。
01:27:42	ですね。
01:27:44	これはわからない。
01:27:46	わからないですこれこれこれ見て、これが選ばれますっていう説明を、
01:27:54	それでもねえ。
01:27:56	なんか、
01:27:59	前もちつつさすぎるっていうのもあるし、何かこれ結果は結果なので、何か表か何かにしてまとめてもらって、
01:28:10	したらいいんじゃないかなと思うんですけどもそれ、何か表にはしにくいんですかねこういうのって。
01:28:17	何かやったケースってあるわけでしょう。これたすき掛けでやってるのか
01:28:23	私よくわかってないですけども、
01:28:30	当北海道電力の青木です。
01:28:32	衛藤実施したケースIIの一覧みたいなものがあるとわかりやすいっていうふうにとめてますがそういった理解でよかったですでしょうか。
01:28:43	ところを今資料化してないところですのでちょっと資料か検討させていただきます。
01:28:50	井谷です。なんかね何か難しいのであればねやっぱりこの絵とかはね、もうちょっと大きくして、
01:28:57	やっぱりこれが選ばれるのが、妥当なのかというか、適切なのかっていうのは我々確認しなきゃいけないかなと思ってますので、
01:29:07	一方で何かこの
01:29:09	あれかな。
01:29:14	例えば、541 ページの右下の数とかでは、
01:29:19	これはあれですよ、これだけじゃ多分説明できないんですよきつと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:36	北海道電力の青木ですとちょっと詳細パラメータスタディの位置付けているところから説明させていただきますと、アスペリティ位置と上縁深さを検討しているところになります。
01:29:47	これらのパラメーターについては、水の変動量を変動させても、そもそも変動量がすごい小さいというところがありまして、それがわかるような資料が例えば、
01:29:58	141 ページの右下のような、
01:30:01	資料でピークの推移をそれぞれ、横軸にパラメーターとして縦軸に水で取って見ていたところになってきます。
01:30:09	そういった中で、こういった条件が厳しいかというところになりますと、大体の傾向は取れているところなんですけれどもその変動による影響は小さいというところで、
01:30:22	そ観点側か。
01:30:25	見づらいのかなっていうところと、あと、
01:30:39	いやね多分ね、その変動は小さかったとしても、詳細パラスタをやって選んでるっていうことを考えると、やっぱりこれ説明すべきなんですけれども。
01:30:49	多分これを見てね、こういうのが選ばれるのは、それおかしくないんだろうと思うんだけど、
01:30:57	それをぱっと説明できるようなものをつくって作ってくださいよと、できたらですね、お願いしたいと。
01:31:06	いうところで、その中で、その中で青木さんの主張されたりそこはあんまり変わらないんですよとかいうのがあればね、それを出した上で説明をしてもらったらいいかなと思います。いずれにしてもこれ、
01:31:20	ケースを選ぶっていう、プロセスがちょっとわかるようにしてくださいと。
01:31:27	北海道電力奥寺です。
01:31:31	我々の選んだ考え方が、図表類の見栄えとか含めてわかりづらいというご指摘かと思いますので、そのあたり、わかりやすくなるように、
01:31:44	検討したいと思います。以上です。
01:31:49	はい、お願いします。
01:31:51	あとは、なんかさっきちらっと話があったんだけど、これ、僕
01:31:58	このこの範囲に入ってくると、派遣がピークが重なるんですよっていう説明は 74 ページだとかですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:05	こういうのはねビジュアル的にもわかりやすいなって思ったんですね。
01:32:11	ただねこれ矩形の話かな。
01:32:17	なくて、
01:32:18	黒字を、何か口頭では説明あったんですけども、
01:32:23	久野 G でも同じような絵とかってできないんですかね。
01:32:28	この時はこの範囲が重なる中でこれなんですって言って同じように説明するのが、何か楽な気がするんですけども。
01:32:36	そういう考え方がちょっと違うんですっけ。
01:32:42	北海道電力の青木です。当基本的に大きな流れ WAC 系モデルと黒字モデルと同じになってます。今まとめる資料、矩形モデルに特化してまとめた資料になっておりますので、
01:32:56	この次モデルも同じような資料あるとわかりやすいと、というような指摘かと思いませんちょっと資料かを検討したいと思います。
01:33:03	ただちょっと資料の流れ上、同じような資料がずっと続くのでわかりづらくなっていうところでちょっと後段に載せたっていうところが、実情であります。
01:33:13	以上です。
01:33:16	青い起こりました。
01:33:30	ちょっと後でまた戻るかもしれないですけど上昇カーブをざっと確認してきて、
01:33:40	パッとワーカー概要版で言うと Q2 なんか中、
01:33:45	行きます。
01:33:46	うん。19 ページからね。これがまたわかかわからないっていうのもあってちょっと鈴木さんありますか。
01:33:59	あ、すみません規制庁鈴木です。ちょっとすみません途中で進みませんでした。ちょっとこの加古川なんですけど、冒頭名倉の方から話もあった点と重複する部分があるかもしれませんが、
01:34:13	ちょっとまず 2 ページで、多分会合の当日で本日の説明概要と書いてあって、
01:34:21	説明の流れなんですけどね。
01:34:23	これ何か追加項があって一つ目が、まず上昇側とは違うんですか農変わりが発生しないってということからとって、
01:34:32	じゃあ何か半減に理解が発生しない、なぜそれがいえるのかの説明があるんだろうと言っている所を見ていくと全くないんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:41	いきなり耐津波設計のことが書いてあって、何かこれおかしいなといって本店の方を見ていくと、本編では書いてある順番が当然逆で、
01:34:52	先に対津波設計の方で国分合わせて、基準津波の選定がもう、保守性を考慮した時間というふうに、
01:35:02	置き換えますと、フローですね 106 コンペ 264 かな。
01:35:07	で、それをまずやって、その結果をもとに見直してみると、波源乗り換えの確認をしたら、発生管理の入れ替わりの発生はしていませんっていう流れなんで、
01:35:19	何かこの本日の概要で、こういう説明をしますと言ってることと、何か後に出てくる説明とかあってなくて、さすがにこれは、
01:35:28	2 ページを見てどういう説明をしてるんだらうって後ろに行ったら出てこないって、さすがにこれはなかろうということで、そこ、すみませんさすがに後と合わせてくださいってのがまず 1 点で、
01:35:41	2 点目は、なので概要でいくと 19 ページから、
01:35:47	一応これ前回少し最後どういう高校に持っていかは堀鎌田検討中でした前回のヒアリングで、設計側の方で、
01:35:58	どれを最終的に基準適合上使うかと。
01:36:01	それを踏まえて基準津波の策定側の方でも、
01:36:06	この補修性を考慮する時間にしましたと。
01:36:11	いうことで、
01:36:15	そのあとはですね 21 ページにいくと、
01:36:18	新しい定義を作って、それを追加して以下の再評価を、
01:36:25	実施しましたとあって、
01:36:28	具体的に何やったかは 3 ポツとか 5 ポツ 1 から 5 ポツ様まで、あと補足説明資料読んでくださいということになって、具体的に何やったかは、細かいところは書いてない。
01:36:38	けど、
01:36:40	変更前と変更後で、
01:36:42	これ、貯留堰を下回る継続時間とか、パルスを考慮しない時間とかっていうのは、これは何か最後まで残ってくるんですかね本編とか見ていくと。
01:36:53	確かに所々そういう時間も少しアップデートされたものが載っていて、
01:37:00	それは最終的に残るけれども、何で資料として説明するんだけれども、基準津波の選定、は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:37:08	しません。
01:37:10	ということで、残るんですかそれとも置きかわって前のものは、これ考え方変えたんで、貯留堰を下回る継続時間とかパレスを考慮しない時間、これは別にどういう時間かは、
01:37:21	関係ないので、これは置きかわるんですってことなのか、何か資料を見ていくと、ずっと残っているので、
01:37:28	基準津波にはしないんですけど、それはせご説明します。神尾、お互いに見てくださいというそういうことなのか、これはどっちですかね。
01:37:47	北海道電力の青木です。
01:37:50	加古川の最終的なプロセス、最終的なじゃなくてプロセスがわからないというところかと思っております。
01:37:57	評価というところでは変更後の評価っていうところで、水位下降量の最大ケースで処理でき下回る継続時間の最大ケース、パルセ考慮しない時間保守性考慮した時間、この四つの項目に対して最大ケースを、
01:38:11	それぞれのパラスタで選んで、最終的に、
01:38:15	選んで行っているというところになります。その最後の最後の基準津波選ぶ段階においては、この四つのうち保守性を考慮する時間を選んでいくっていうようなそういった資料の立て付けを考えております。以上です。
01:38:29	北海道電力奥寺さん、補足しますと、
01:38:32	今までやってきた項目っていうのがありますがそういった項目も含めて、幅広に波源を選定することによって最終的な結果が、
01:38:42	保守的になるのではないかという考えがありまして、
01:38:46	いろんな項目で見たものを闘わせて最後評価は保守性を考慮した時間で評価したいという趣旨でございます以上です。
01:38:58	いや、それ比較はないよ。
01:39:00	5.9 比較ないでしょう。
01:39:04	5.9 に比較はなくて 5.8 のところに載ってるでしょう。
01:39:09	比較して他の項目はやめましたってどこにも説明がないんですよ。
01:39:14	これは 5.8 にも、
01:39:16	161 ページでやって読み取れるだけで、これ 5.8 ですよ、5.9 には、全然。
01:39:24	3 号機の
01:39:25	取水口の下降側水位とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:28	今まで考慮してたような時間評価内容ってどこにも載ってないですよ。
01:39:48	北海道電力の青木です。
01:39:51	江藤加工量を下回る継続ジャンパス考慮しない時間とかの関係性っていうところなんですけど、
01:39:58	通し資料の 175 ページお願いいたします。
01:40:08	一番最後のページの (5) の最後のページ該当するんですけども、保守性を考慮した時間の評価値というものが、必ず調理時期を下回る継続時間
01:40:20	そしてを考慮しない時間の評価値よりも大きくなる関係であるというところで、一番左下のは系図を比較して書いておまして、取り方として一番厳しくなるっていうようなとり方をとっております。
01:40:33	その考え方っていうところで、右下で、水位下降側の評価に用いる基準津波というところで、下回る継続時間パルスを考慮しない時間については、保守性を考慮しない時間の方が保守的になるので、
01:40:46	そちらを選ぶっていうところを資料化しているというふうに考えております。
01:40:51	以上です。
01:40:55	規制庁の名倉です。
01:40:59	161 ページのをちゃんと表を示して数値を示した上でその考察として、
01:41:06	175 ページで説明するんじゃないですかね。
01:41:14	175 ページで説明してます。いや、これあるのは知ってますよ。
01:41:19	知ってるけど数字はどこにもないじゃん。だけですけど。
01:41:23	何かそこら辺の示し方が、何かこう、
01:41:27	自分勝手ですね。
01:41:34	当北海道電力の青木です。
01:41:36	衛藤。
01:41:38	まず次長厳しくなるよっていうところが読み取れないっていうところかと思っております。その中で、161 ページのところ、下回る時間の関係とかで時間評価変えておりましたので、
01:41:51	ここから説明できると思いますのでより親切になるように資料化に努めたいと考えております。以上です。
01:42:00	いや、ちょっと
01:42:01	やり方がちょっとね、おかしいし、
01:42:11	そこは私はちょっと今の今の答え方は失礼だと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:16	以上です。
01:42:18	すいません規制庁都築ですけど。いや、私が持った飲酒5はですね。
01:42:24	なんかもともとそもそもこの保守性を考慮した時間っていうそれぞれ新しく定義し直したわけですよ。その定義自体が、
01:42:32	パルスを考慮しないだろうと貯留堰を下回る時間なのと、
01:42:35	結果的に同じ数字になることがあっても絶対にや、そもそも定義としてひっくり返ることがないっていうんだったら、
01:42:42	ですよ。
01:42:43	だったら、変更後のものって残ってるのか置きかわるのもしくは、いやいやそれは最後、きちんと数字で戦わせて、それを証明するそういう数字で戦わせて証明するまでわからないんですって言うんだ。
01:42:57	だから、
01:42:58	ちゃんと比較をしてあげないといけないしその比較はどこにも載ってない。
01:43:03	ということなんで、ちょっとどっちかもすらもわからんわけですよ。
01:43:08	はい。
01:43:09	もう一つがですね、すみません 21 概要で 21 ページですと、水位下降量の方で、何かこれも基準津波として選定しないってなってますけど、
01:43:20	多分これは、今回その耐津波 C 設計のところでのその基準適合上の時間の取り方を変えたからと、これ直接関係ないですよ。
01:43:32	何かこのタイミングで、
01:43:34	何かしれっとうグループの中に入ってますけど、
01:43:38	これは、
01:43:39	どこで、説明があるんですかね本体の方に行かないとないのかな。
01:43:45	今回その低下量ではなくてあくまで時間に一本化しますっていうのを何か、
01:43:50	今回の変更もで、
01:43:54	変わってるようなんですけど、
01:44:04	北海道電力奥寺です。
01:44:07	すいません、もう一度、
01:44:10	コメントいただけると。
01:44:13	すいません集めて変更前の左側、特にどれをその評価目的ところに、どれを最後基準津波として選定するかっていう話は、
01:44:24	何も書いてないから、10 日中ですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:27	右を見ると、米印が打ってあって、これは、これらの最大ケースを基準津波として選定しないって、
01:44:34	あと最大ケースを基準と選定するっていうふうに、
01:44:38	位置付け区分けしてますよね。そうすると初めて今回これで、追加考慮の方は、これは、
01:44:45	検査日として選定しませんというのができていて、
01:44:49	それって耐津波設計でどういう時間を、
01:44:54	用いるかっていう話とは別ですよ。ね。
01:44:58	何でいつのなんか今回ああそういうことにすますんだと何か説明したいんだなと思ってみると、
01:45:04	それはなぜかという、
01:45:06	何か本日の説明概要には入ってこずに、
01:45:09	しれっと直ってるような気がするんですが、
01:45:13	これはどこか本店に今日何か説明があるんですかね。
01:45:17	今まではずっとその追加考慮も説明してきたけど、これはこのタイミングで、
01:45:23	基準津波性策定するか選定するかどうかからは、
01:45:28	外します。
01:45:29	とすることですよ。それはどこにあるのかなということなんですけど。
01:46:03	で唯一で、何かそれっぽいことを、ここのことを書くんか、詳しく説明するのかなあというふうに、
01:46:11	見ていくと、
01:46:13	なんか 100 運転だと 180 ページぐらいのところに行くと、なんか水位下降側の最大ケースこれ多分水位下降量のことを多分出しますよね。
01:46:22	何か貯留できる設置することで取水性を確保するので、保守性を考慮した時間の最大ケースを選定することは時間に最後、
01:46:32	代表させますっていう、それっぽいことが書いてあるんですけど、
01:46:38	何か今、何で今までちょっと追加雇用も評価してたけど最後基準津波の選定からところはっきり書くんだったら、
01:46:45	ちゃんとそこの部分も、
01:46:49	説明しておいてもらわないと困りますと。
01:47:01	北海道電力の青木です。概要版の 21 ページの変更前後というところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:08	ももとの変更前において取水口の水位下降量をどのように基準津波にするつもりだったのかしないつもりだったのかとかそういったところが、この資料と読み取れないのでそういったところの指摘かなと考えております。
01:47:23	以上です。
01:47:28	2つ維持するように検討します。それは初めから何か基準津波の策定とは関係ないけどずっと各類、資料の中に、単独のやつもそうですよね。
01:47:39	説明に入ってたっていう
01:47:43	そういうご質問なんですかね。
01:47:45	いずれにしてもまず、説明、なぜ、下降量の方を外すのかって言うんだったらそれはそれでちゃんと、
01:47:53	それ一つとして説明してもらわないと困りますね。
01:47:56	はい。
01:48:01	多分これありですよ。北海道電力としては今回は初めて、まともに基準津波としてどうなのを設定しますかっていうまともに議論するのは、多分今回初めてのよな、
01:48:13	ところですよ。で、それにあたって、
01:48:17	いずれにしてもこの考え方っていうのはね、太細等にならってこうしたとかじゃなくて北海道電力として、
01:48:26	どうどうしてこれが選ばれるのかどうしてこういうこれを選べ選べばいいのかっていうのをですね、ちゃんと書いてもらわないといけないなって思うんですよ。
01:48:36	24 ページで、
01:48:39	他サイトの検討状況を参考にして地形モデル前の最大ケースを、
01:48:45	選定する。
01:48:48	なんか、ここ、これを書くと、北海道電力としてはどうどう考えてるのかって
01:48:55	必ずこれは介護で聞くことになると思いますし、
01:48:59	その話と一緒に、下降側はどうしてなんて言うんですかね。
01:49:06	加工量は、選ばなくていい或いは、
01:49:10	テーパ
01:49:11	保守性を考慮した時間だけを選定するっていう、1回考え方をちゃんと書いてもらってそっからの議論かなと思いますし、何かさっきのやりとりで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:49:23	いや、やっぱりわからなかったのはやっぱりこれ保守性を考慮した時間がこう大きくなるっていうのは最初からもうわかってること、宗鈴木さん言う通りです。
01:49:32	それなのに何か最後までこれは、
01:49:35	やる。
01:49:36	何か聞く。
01:49:38	朝、最初っからこれはもう参考的なものとして、パルスを考慮しない時間だとか貯留堰を下回る継続時間とかこれも参考的なものなんだっていうんだったらもうそういう整理をしてもらっても何かいいんじゃないのかなと思いますし、
01:49:55	だってこれ、清さん、最後にいかないと、これ。
01:50:01	最後にいかないと、これ圧壊決めませんっていうんだったらこれさ、最初から最後までこう我々この評価が妥当なのかっていうのをずっと見ていかなきゃいけない。
01:50:12	で、全然もともと関係ないんだったらね最初から外してもらったら、我々そんなのこう見ていなくてもよかったりするよな、
01:50:21	ことなんだろうなって思って話を聞いてましたけど、いずれにしても、
01:50:26	ちょっと扱いは、
01:50:28	よく整理して欲しいですね。
01:50:35	もう一つ言うとさっき出てきたページの、これ僕文章読んでて何を言いたいのかよくわかんなかったんですけど、
01:50:43	100、
01:50:44	174 から 175 に移るところなんですけど、
01:50:51	まずう。
01:50:53	軽いのから言うと、
01:50:55	以上よりは元の入替わりかっこの主要な断層のパラメータ変更は発生していないと考えるっていう、174 ページこれ何かよ、何を言ってるのかよく分かんなくて、
01:51:06	多分これ単独の波源が入替わることがないんですよって言いたいですよね。それは、
01:51:14	考えるんですかね。
01:51:15	発生してないんだったらもうないないんだし、この
01:51:19	発生してるんですか。
01:51:23	派遣の入れかわり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:51:25	括弧仕様の断層パラメータの変更というのこれはもう何かよくわかんないですけど、
01:51:31	波源の入れかわり後段大きな断層パターン。
01:51:35	に注目した場合ってということなのかもしれないんですけど、これ、
01:51:39	発生したのかしてないのか、してないってというのが結果で入れるんだったらもう考えるじゃなくても、
01:51:46	いいと思うし、で、
01:51:48	それは細かい話でいいんだけど、175 ページで、
01:51:53	これは一体何を言いたいのかっていうのが
01:52:04	二つの、上の二つの丸はね、まあまあ、これが長くなるんだよっていう話をして、
01:52:11	保守性を考慮した最大これを基準津波として設定するという考えですね。
01:52:17	で、水位下降側の評価の妥当性っていうこの三つ丸があるんだけど、これがね何か、どうしてこれが、
01:52:26	こうなってこうなってこうなってっていうのがよくわかんなかったん、ちょっとわかりやすくちょっと説明してもらっていいですか。
01:52:35	北海道電力奥寺です。174 ページについては、
01:52:40	この書きぶりというのは、パラメーターといいますと、いろんなアスピリティ聞いたのパターンだのって細かいこと言うといろいろあるんですけども、
01:52:50	その細かいところというのは若干、変わるようなところがある部分も、3 秒数とか含めてですね。
01:52:59	あるんですが、
01:53:01	パターン7 っていう観点理由と、大体同等か、
01:53:05	同じようなものが選ばれているので、そういう意味で、入れかわりはない。ただ、細かいところが変わっているのを考えるっていうことは、なっちゃってる
01:53:16	パターン、刀で買わないってというような考えであります我々としても、
01:53:22	はい。
01:53:24	そう書いているつもりなのですがわかりづらいということなので記載見直したいと思います。
01:53:29	そういう細かいところが変わっている部分も、ハードの中で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:53:35	その細かいものが影響あるのかないのかってということが175ページの妥当性の話ですけれども、こんなに広げていっても、
01:53:44	25分でしょうか。極端に言うと25分を超えるようなことがないんでその細かい、
01:53:54	組み合わせたときに、パターンが変わる変わらないっていうのはあまり評価に影響がないのではないかということを書いたかったということです。以上です。
01:54:06	あのねそれはもう全く伝わってなくてこれ僕らはここで妥当性って言われるんだったら、今選んでる。
01:54:14	800何秒だとか、こういうものが入れかわるような検討は必要ないっていうような、そこが妥当性だと思うんですけれど。
01:54:25	わかります。これで言いたいことってあれですよね上昇側のような、
01:54:31	波源の入れ替わりとか考えて、最寄り深掘りした検討は必要ないっていうことを言いたい。
01:54:38	ページですよ。
01:54:41	そうそうそう。それはねその辺は、
01:54:44	これはねざくっとした話に終わらせるんじゃなくてやっぱ派遣に着目したときに、
01:54:52	じゃあ聞きますけどこの、
01:54:54	何だっけ、174ページの5.8の863っていうのが、
01:55:01	これは何かやり方によっては1500秒とかになることはあるかもしれないと思ってるのかどうなのかとか、なんかねそんな話に
01:55:11	何か何なるんなる。
01:55:13	だよな。
01:55:15	んだったら1500選んだらって、私は思うし、こういう話はねちょっと違うかなと思いますけど、
01:55:26	整理されてもいいですし、会合でまたこれ議論になっても、
01:55:30	どうかなと思ってますけども。
01:55:47	北海道電力奥寺です。我々主張したかったところは、
01:55:55	大きな、174ページで大きなこれ以上変化っていうのはそんなに考えづらいっていうところが主張したかったところで、
01:56:03	もしかすると175ページみたいなところが、蛇足で書いてわかりづらくなってしまってるのかなって今話のやりとりしてて思いましたんで、
01:56:14	思いましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:56:17	ちょっと我々が174で言いたかったこと等、等わかりやすく言うかというその修文の話もあります。
01:56:26	けれども、それも含めて、
01:56:31	構成含めて、
01:56:33	市長を市長の四方文言も含めて修正を検討したいと思います。以上です。
01:56:46	そうですね。私もぱっとこれ見た時、
01:56:49	ハゲ乗り換えが発生していない。あれ。
01:56:52	地震に伴う津波採泥ケースでパターン断層パターンだになってる健全地形モデルのものは、組み合わせな断層パターン6になってるんだけど、これは何波源の、
01:57:03	下変わりは発生していないっていう、最後、大して差がないからって意味で、
01:57:09	そういうふうになんか最後の扱いになるんですかねという
01:57:14	何か今の浜での流れの話を聞いてみると、そもそもこの今回保守性を考慮した時間に定義を控えて、いろいろ何やかんや評価しましたとの変えてるけど具体的に、
01:57:25	どこまでの範囲やったかっていうのはあまり判然とはしてないんですけどね。
01:57:30	ある程度の多分一定の範囲まではやったわけですね多分これ、174ページの概要の22ページでもいいですけど、ちょっとずつ見ていくと、
01:57:40	地震に伴う津波最大ケースで、断層パターンもちろん変わってないですけど波源位置だとか、アスペリティの位置だとか、断層上の深さとか、ちょこちょこと
01:57:51	変わってはいるんで、ある一定の範囲内のものは検討してるわけですよこれ。
01:57:57	で、
01:57:58	何か今のまでのこの案の説明だとおそらくこの721秒698秒743863。
01:58:06	これを少々超えるようなものはまだ残っているかもしれませんが、
01:58:12	このぐらいでおおよそ抑えているでしょうって何か774と175ミリと、そういうことを説明したいんですがまだまだあるかもしれないけどこれ以上は、
01:58:23	想像大きくなりませんよっていう話をしているのか。
01:58:27	いやこれまで検討してきた中で、もう十分ですこれじゃないんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:58:32	一応、
01:58:33	健全地形モデルでは断層パターンな断層パターン 6 というのは 1 個ありますけど、大した違いもないし、これまでの検討でここに書いてあるので、
01:58:43	これを超えるものがないっていうところまでを言ってるのか、いやこういうものはあるかもしれませんが、それは、
01:58:50	たとえ超えたとしても、法の影響は小さいリスト 775 ページ含めて、ようとしているのか、この辺もね、よくわからなかったですね。
01:59:01	なんかこう、20 概要版で見ていくとこれでもう、
01:59:05	最大なのかと。
01:59:07	どういうふうに言ってるのかというと、170475 にいくと、大体 99 点ぐらいは取れてるので、
01:59:14	このぐらいでっていうふうに、なんか言おうとしてるのかっていう。
01:59:19	今後ね、
01:59:20	どちらかよくわからなかった。
01:59:36	社内でちょっと打ち合わせします。
02:01:02	ああ、いいですよ、じゃあとりあえずは、
02:01:04	あと、一応何か補足説明の方まで見ていくと多分下降側の方も、断層パターン 8 とか、
02:01:13	ちょこちょこ範囲としてはやや、
02:01:15	てるんですかね大体がそもそも第 2 はと第 4%の間だから、
02:01:21	もしこれは少し教えてもらいたいけど断層パターン 7 とか断層パターン 6 っていうのが、割とこの第 2 はと第 4%の間で書こうかを拾うって意味では、
02:01:32	それが何て言うかも、うん。一番長川ろうで、他の断層パターンというのはそもそも第 200 第 4%の間の時点で、
02:01:40	なんていうかあまり検討として、
02:01:43	拾われ、最終的にその長くならないパターンっていう、
02:01:48	その組み合わせる前の、
02:01:51	地震単独の、
02:01:53	第 2 は第 4 本の間の比較で、
02:01:56	何かそういうようなことも検討されているのか、ちょっとねどこまで検討してこの最後、
02:02:05	174 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:02:07	ところにたどり着いたかっていうのはちょっとね間が少し抜けているので、
02:02:12	重要度で言えば、
02:02:15	概要版とか先ほど言ったようなちょっと論理を詰めていただくことが最重要なんですけど、
02:02:20	少し間が飛び過ぎてるかなっていうのはありますね結まただからといって、結論がすぐ、
02:02:27	おかしいと言うつもりはないですけど、
02:02:31	ただ下降側の方は大分その定義を少し変えて考え方を変えてきたので、前回のコメント回答という回答の仕方としては、
02:02:40	流れとしてわかりました。はい。
02:02:48	はいすいませんちょっと私から以上です。
02:02:52	北海道電力奥寺です。
02:02:55	下降側の、
02:02:56	結果で、我々が主張したいところを、もう少し根拠を含めて明確になるように修正したいと思います以上です。
02:03:11	井谷です。根井、ちょっと後はざっと行っていきますけどう。
02:03:18	なんかね、やっぱり資料を見て行って例えば 80 ページ、
02:03:27	なんかね何を言いたい何が結果なのかっていうのがよくわからなくて、
02:03:34	断層上縁深さの整理をして、
02:03:40	これが結果なんですかね。
02:03:42	うん。これが結婚んなんかよくわかんなかった 79 ページ。
02:03:48	これアスペリティ位置の整理して、
02:03:53	何が結果なのかなあとという選定するっていう考えが結果なんですか、整理した結果っていうのは、
02:04:02	これを、
02:04:08	何かそれぞれで何を言いたいのかっていうのがちょっと、もう少しわかりやすくしてもらえたらいいし、
02:04:16	もうどんどん細かいことを行っていきますよ、65 ページ。
02:04:21	65 ページなんかね。
02:04:25	これ概要版にもあるのかな、なんか
02:04:28	断層パターン 6 から、それ以外の断層パターンに変更するとかって言われてもなんかねこれ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:04:35	わからないですよ。
02:04:40	結局言いたいのは何か網羅的にちょっと 1 から整理し直したとかいうそういう話なんですよ。
02:04:46	これわからないですね。
02:04:49	という話と、
02:04:54	あと、
02:05:02	85 ページ。
02:05:06	85 ページもねこ 0。
02:05:13	真ん中ぐらいに
02:05:16	算定方法って言ってあるんですけども、
02:05:18	結構来丁寧に書かれてるんですけども、
02:05:24	結局何を言いたいのかよくわからない範囲内に入る入らないの結果が異なる。
02:05:31	保守的に波源として組み合わせ時間はいると判断するっていうのが、僕は何回これ言ってることがよくわかんなかったなというところですよ。
02:05:46	86 ページもねえ。
02:05:52	これなんか 86 ページの結果最後なんか結構こう大臣大事そうに書いてるんですけども、これ、確認ですけども、
02:06:01	組み合わせ時間範囲を整理する、ピークの発生時間を起点として組み合わせ時間範囲を整理するっていうのを書いてるんですけども、
02:06:11	これってあれですよね只野こき基準の時間を言ってるんですねここを。
02:06:16	ここを基準にずらしていく。
02:06:24	タイミングを決めている。
02:06:26	後で結局、
02:06:27	5 秒ピッチだか何秒かピッチでやっていくので、これはあんまり最後は関係ないような話なんですっけ。
02:06:36	北海道電力の青木です。もうこの 86 ページの定義っていうところなんですけれど。
02:06:43	地震津波単独の葉系を用いてピークは入る入らないとかっていう、選定してるのは概略パラメータスタディでやっておりましてそれに聞くのがこの話と考えております。
02:06:54	最終的に組み合わせ評価だと、
02:06:59	この起点がどうこうとかではなくて実際に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:07:02	組み合わせ範囲の中でずらし範囲で検討しているので、ここも 86 ページいってるところは、
02:07:08	組み合わせ評価上もすべて網羅的に検討できている。起点がどこかは関係ない話というふうにとらえております。うん。そうですね。だったら何かそういう、カリカリでこういうのを基点として整理するけれども他の部分は、
02:07:21	ちゃんと網羅できるんですよっていうような主張なんじゃないかなって思ったんだけど。
02:07:27	何かね。
02:07:29	これを見ると、何かこれでいいのかなとか言って僕はちょっと構えてしまったっていうところがありますね。
02:07:44	71 ページは、何がわかる。
02:07:55	71 ページの一番下にねで、詳細概略パラメータスタディにおいて断層パラメーターの変動を検討する。
02:08:07	詳細パラメーターにおいて、これはいいのか。
02:08:16	あのね、
02:08:19	うん。
02:08:20	いやいいです。はい。すいません。
02:08:31	あとね、100、
02:08:33	110 ページはね判例が見えない。
02:08:49	100、
02:08:50	あとね、
02:08:52	かっこ良くわかんなかった 115 ページから 117 ページ以降、
02:08:56	これが何のためのページなのかっていうのがよくわからなかったこれ結果が出た後で、
02:09:03	ピークが重なることの確認とか言って、
02:09:06	何の話かなって思って、うん。
02:09:11	参考的なものだったら参考にしてもらったらいいし、
02:09:17	ピークが重なることが確認が大事なんだったら、これは
02:09:22	評価結果の前に来るんじゃないのかなとか思って、何かよくわかんなかったんですね。
02:09:29	で、
02:09:30	169 ページ。
02:09:39	これねえ、えっとね 169 ページこれ今回大事な話ですねこれ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:09:44	下に以上より、貯留堰を下回る葉系のうち、上昇側の第2は第4班の間で発生する一時的な水位上昇を含むは形として、
02:09:56	ていうこの日本なんか、
02:09:58	僕この文章が、
02:10:00	すごくわかりにくかったんですけども、
02:10:04	一応やってることを理解してるつもりなんですけど。
02:10:07	やってることを理解してても、
02:10:10	上昇側の第2は第4はで、間で発生する一時的な水位上昇を含むは形として時間を定義する。
02:10:20	ていうのが、
02:10:21	んな、何ももうちょっとこれ、
02:10:25	言葉を整理された方がいいかなと。
02:10:32	70、これ、
02:10:38	あとねえ。
02:10:42	結局知りたかったのは、この本会議、
02:10:50	保守性を考慮した時間って出しましたよね。
02:10:53	この時間が出ただけど、
02:10:56	この誠意ってどんな感じだったんですかねそれって、
02:11:03	補足から拾っていけば拾っていただけるんですか。
02:11:10	北海道電力の青木です。一応補足資料に載ってるんですけどそっから拾うの大変だと思いますのでちょっと資料か検討したいと思います。以上です。
02:11:21	これが僕はちょっと確認したいのは、下降側と、これは館野参考人の参考でしかないと思いますけど、花崗岩下降量と、
02:11:31	どれぐらい違うのかなっていうのをちょっと、
02:11:34	気になって、
02:11:36	知りたいなというところです。
02:11:47	すみませんちょっと次の規制庁さっきすみません、忘れたんで。
02:11:52	コメント回答の、コメント回答 No. 33 ですね。
02:12:00	これ一せ、当然、前回の会合のときには、まだ定義を変える前だったので、
02:12:06	追加コアの部分ってその、仮に上昇側と同じように、位相の変動を考慮する必要がないんですよと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:13	いうのを、それをなぜ必要がないのか、説明してくださいねと言っていて、
02:12:19	それが今回、右側に方針を置き換えたことによって、なぜ、
02:12:26	変える必要がない、或いはその議論をする必要がない、検討する必要がないっていうふうになったのかが、
02:12:32	ちょっと一切触れられてない。
02:12:40	なんでここのコメントについては今回こういう方針を変えました従ってこの移送の変動という話は、こういう理由で、
02:12:49	考慮する必要がない、或いはその検討する必要はないんです。
02:12:53	ていうのは、
02:12:55	何かどこにもなく、
02:12:57	何かとりあえず左の米行く指摘はさておき、
02:13:00	下降側はこういう方針にして、よろしく妥当性を確認しましたったコメントは、
02:13:07	回答というのでも何か考え方を変えたんで、
02:13:12	とりあえずコメントは一旦、
02:13:13	なかったことにしてください、改めて何か同じようなコメントが必要ならしてくださいっていう。
02:13:18	やっぱそういう構成になっててですね、一応コメント回答であるからすると、いやこのコメントにたこ、答え方として、
02:13:26	何も触れてないですよこれ回答方針。
02:13:31	時間の取り方変えたんで、こういう理由によってこの移送のコールってのは必要がないんです。その辺のこれ必要ないんですっていう。
02:13:39	説明があるんだったらば、回答なんですけど、別にその辺の考慮をさらに号炉しろと今言ってるわけではなくて、
02:13:47	何かその説明がないと、
02:13:49	あれ、この日程、確かに更新会というのはそうなんだけどそれによって左の指摘事項っていうのは、
02:13:56	もう1回聞き直さなきゃいけない話なのか、いやいやこれは、の指摘として答えとして、やらなくていいのねと。
02:14:04	いう。
02:14:06	じゃあ、更新変えたことによって、じゃあ次のステップに進みましょうというふうに進むのかももうここもわからんのですね。
02:14:13	させようと言いましたけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:20	北海道電力奥寺です。
02:14:23	検討したい内容、或いは検討結果に即して、
02:14:29	感的にここのコメントがああいう不要でいうと、不要だと考えているんですけどその辺の流れがちゃんと書かれていないということだと認識しましたので、
02:14:42	資料の本体の修正を含めてこちらの方の記載も適正化したいと思います 以上です。
02:14:58	はい、お願いします。
02:15:09	藤谷ですけど、根井。
02:15:12	前も何か聞いた補足資料の 81 ページ以降 2、
02:15:20	防潮で前面の最大ケースの妥当性確認っていうのをやられてるんですけど、
02:15:33	これがね何でこれが妥当なのかっていうのをねいまいち。
02:15:39	よくわからなくて、家結果を言うと、
02:15:44	84 ページで、
02:15:46	検討対象は県営は、
02:15:49	川白の一派と地震に伴う津波の伊波が重なり水位が最大となっているから、
02:15:55	波源選定は妥当であると考えます。
02:16:00	何のことかよくわかりませんよこれって。
02:16:06	何を説明しなきゃいけないかっていうと膨張で前面の評価を、
02:16:11	最大を選定するときに、12 号の取水口や 3 号炉の取水口で代表させたんだけれども、
02:16:18	その考え方が妥当かっていうのを説明してるん。
02:16:23	でしたよね。じゃないんですかね。
02:16:30	北海道電力の青木です。
02:16:33	ここで一番言いたいところっていうところが、評価地点のどこの水位時刻 100k を用いて比較するかっていうところよりももっと上流側にあるってところで、最終的に選ばれた防潮で前面の上昇側の最大ケースが妥当かどうか。
02:16:49	ていうところにフォーカスを置いてるところになります。
02:16:54	当相撲ん。
02:16:55	ピークが重なるかどうかっていうところが、今回の資料の一番大事なところっていうふうに考えておりましたその観点で見っていきますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:17:05	当断層パターン7のケースは、やっぱり取水口付近で最大になっております TP 重なってるっていう結果が出て、ここは特に問題はないかと思いますが、
02:17:16	緑色で書いております検討対象波源 A で言いますとちょっと違うところで最大地点が出ているというところになっております。
02:17:23	この違うところになってるんですけどこのピークが重なっているかどうかというところを、ここの資料 84 ページのところで確認しまして、
02:17:33	その結果、ピークとピークが挟まって最大値になっているので、最終的な選定としては問題がないというふうな考え方になってございます。
02:17:44	以上です。
02:17:47	谷です。どこかでピークがちゃんと重なっておけばいいんだっていう話なんですけど。
02:17:56	何かもう少し丁寧に、
02:18:01	説明してくれないと。
02:18:04	要するにこれって、3号炉とか、12号の取水口で評価した波源を使ってるんだけど、他の地点で、
02:18:14	大きくなるような波源はないんだっていうようなことを説明。
02:18:20	されるのかなって思ったんだけど、何か。
02:18:25	そうでもないんですよね。多分これをお話が、
02:18:31	ほかにないかっていう話をしようと思ったら、なんか結構検討とかしなきゃいけなくなってくるのかもしれないんですけども、そういうことをするとかじゃなくて、
02:18:42	ちゃんと今の過程、過程、1人1人、12号取水口3号炉取水口で評価したものが、ちょちょ、防潮てにとっても高い水位になってるんだ。
02:18:56	っていうのを、何をもって判断してるのかっていうのが、何かね。
02:19:02	よくわからないんですね、これ見ても。
02:19:35	北海道電力奥寺です。今、青木が説明したところは、まず、ちょっと前面での最大広く、
02:19:43	てます。
02:19:44	それは、
02:19:45	そのプロセスとして1%の重なりに歯の重なりっていうところをやった上で最大値を調停で出してます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:19:52	いうところで、二つの経路があるので二つの経路に対してきちんと説明するっていう趣旨だったんですけども、最大拾っているのは結局のところをと 85 ページのところを、
02:20:05	で、そこで出てきた数字っていうのは 12 号とのピークの時間とかで位置しているというところがわかっていくので、
02:20:14	そこできちんと 12 号で代表できるということを説明できているのかなと。
02:20:20	かえって、
02:20:21	84 を出すと混乱させてしまってるのかなという気がしたんですけども。
02:20:28	ちょっとやったことを定義におったつもりでは、我々としてはあったんですけども、わかりやすく、
02:20:36	今私が今、このやりとりでそう思ったんですけども、
02:20:43	そのあたりでそれは多分私宗のことを言ってるつもりはなくて、いや、こういう、こういうのが大きくなるようなところもちゃんと選ばれてるっていう話であれば、
02:20:54	ちゃんと説明してもらったらいんですけど、何かこれをもってね僕はもう、
02:21:02	何で同等。
02:21:04	評価地点を他に代表させるのが妥当ですっていう。
02:21:09	ところ 2 行。
02:21:12	繋がっていかないんですよ。
02:21:14	でもそうじゃなくてもっと上流側の話なんだっていうせさっき説明ありましたけど、だったらじゃあ何を、
02:21:21	確認してるのかなっていうのがよくわかんなくなってきました、
02:21:27	只野孝言葉足らずなのを、行間埋めてもらったらわかるのであれば何かぜひちょっと追加してもらったらいし、
02:21:38	うん。
02:21:40	重なったことによって水位が最大となっていることから選定は妥当であるというのか。
02:21:46	なんでなのかなって思ってますね。
02:21:50	ちょっとこれ、
02:21:52	あまりこう、
02:21:55	私ももう少し考えてみます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:21:59	藤。
02:22:01	7 歩 II
02:22:06	この
02:22:15	このこっち、今後、
02:22:19	何か 7 ポツでね、すいませんメモが汚くて、今後説明するみたいなことが書いてあるんだけど、
02:22:27	これの意味がわからなかったの、貯留堰を下回る。
02:22:31	事故。
02:22:32	時間に関する検討の位置付け。
02:22:35	どこかに何か書いてなかったですかね、今後、
02:22:39	89 ページ。
02:22:44	これ何の話なんですっけ。
02:22:48	対津波設計で今後説明する。
02:23:01	当北海道電力の青木です。89 ページについては、耐津波設計方針における説明内容というところで、その対津波設計の中で、
02:23:12	この一番下の一時的な水位上昇による感度解析より水位が詳細な評価について説明するっていうところを書いているところになっております。
02:23:23	僕らは基準津波にそういう話に関係するんかしないんかかって言うのかを、
02:23:30	知りたいわけなんだけれども、
02:23:34	今後対津波で、
02:23:36	説明すること等、
02:23:39	我々の基準津波と高高度どういう関係になるんですけれど、
02:23:45	気にしなくていいんですっていうことなんだと思うんですけれども。
02:23:50	何か基準津波の中でどこまでを説明しなければいけないのか。
02:23:55	ていう、
02:23:59	どう考えてるのかっていうのがよくわからなかったんですよ。
02:24:14	89 ページ、今後、
02:24:17	取水可能水位の比較については、今後説明する。
02:24:22	それは、
02:24:25	今選ぼうとしている。
02:24:27	保守的な水を使えばいいんです。
02:24:30	ていう話でいいんですかっていう。
02:24:36	そうそうそう、そういうことを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:24:39	ここに書かれてしまうと、それを確認しなきゃいけないんですね。
02:25:02	北海道電力奥寺です。入力津波のところ、説明していく内容というのは概要版の、ちょっと言葉足らずではありましたがでも 19 ページ 20 ページの説明内容なので、
02:25:14	これに対する基準津波を選んでいきたいというのが基準津波の中での検討事項かと思っております。
02:25:21	ちょっとそこら辺が、
02:25:25	誤解を招きそうなので、
02:25:28	資料については、そういうことがないように、修正等検討したいと思います。以上です。
02:25:42	井谷です。
02:25:49	はい。何かちょっと僕、ここのこの資料が、
02:25:53	何かまいち私も飲み込めてないところもあって、
02:25:58	はい。
02:26:21	あとですねすみませんね細かい話になるんですけども、
02:26:26	何か私すごい戻ります本編の
02:26:31	7677 の関係なんですけれども、
02:26:38	何かねえ。わからないのが、丸新野。
02:26:43	②のピークが重なる範囲の推定っていうのをこうこう推定しましたっていうのわかるんですね。
02:26:50	これ、この最後の推定されるっていう言葉が結構引っかかってて、
02:26:56	ピークが重なりと推定されるって書いてるんですけども、
02:27:01	これは、
02:27:03	これ、これに基づいてこの範囲で推移。
02:27:06	重なりと推定されてて、でもその次に行くともう検討対象ケースっていうのも選んじゃうわけですよこの、
02:27:14	推定に基づいて、そこに対して何か、
02:27:18	別に、
02:27:19	検証みたいなのをしないんですよね。ということは、もうここはこの範囲でピークが重なるっていう
02:27:27	判断してんじゃないのかなっていうふうに、
02:27:30	そう思ってて、
02:27:33	で、これ 74 ページ 75 ページも一緒に、
02:27:37	推定されるものを確認しに行かなければ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:27:41	これはできないのであれば、何となくこの 7677 の関係ってのが、
02:27:47	崩れちゃいそうな気がしてて、んで確認なんですけど、これはもう判断してるっていいんですかね。
02:27:57	北海道電力奥寺です。
02:28:00	ちょっと言我々の言葉の使いようで、おっしゃる通り判断してます。以上です。
02:28:08	確認できました十分判断してるからその中で、一番近い方をも検討対象候補ケースにも、そのままさ 70 名、77 で、
02:28:18	してしまうんだという考えですね。
02:28:20	やっぱりそうなってくるとやっぱり 74 ページと 75 ページのパターン 8 の扱いってのが、
02:28:27	続いて、ここも判断し、ここも判断してるんだったら、
02:28:32	もう何か 75 の検討対象ケースにするところ言いつつ、
02:28:37	これは念のためとかって書いてるけどもこれは補足とかで、
02:28:42	いいんじゃないんですかって言うのか、何か、大分、1 時間前ぐらいの話戻っちゃいますけど、
02:28:47	そんなふうに、
02:28:49	感じて、ここは向こう、結果は、もう大体、
02:28:54	見たので、わかりやすくですね流れるようにしてもらった方がいいなというので言ってます。
02:29:28	はい、大谷ですすいません時間も大分押してまして、確認はもうそろそろにしたいなと思うんですけど調整官とかはありませんか。
02:29:41	1 点だけ確認させてください。
02:29:45	コメント No.34 番。
02:29:47	3 ページにコメント回答も回答方針ありますけど、
02:29:52	これって、今回評価した結果として、
02:29:56	前回、これまでの評価と何が変わったんですか。
02:30:12	北海道電力の青木です。指摘事項 34 番の前回の評価、前回の会合の中で、令和 5 年 3 月 24 日の会合の中では、
02:30:23	最大ケースにするものは、地形モデル問わずに、その地形モデルのうち一番数字が大きくなるものを、最大ケースというような整理の仕方にしておりまして、そこと比べると、
02:30:36	衛藤すべての地形モデルを選ぶという考え方に変更してございます。
02:30:42	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:30:46	千葉最初に戻したっていう理解でよろしいですか。
02:30:55	北海道電力の青木です。令和5年3月24日の前に説明してたものに戻したという考え方になっております。以上です。
02:31:07	そこら辺が経緯があって、
02:31:10	そうなってるかもしれないけど、それがわかりませんでした。何がか。これ、前回もしくはそれ以前と何が変わったのって考え方変えたの。
02:31:22	で、一体どういうことなのかなって。
02:31:26	すいませんそこが全くわからなくて、ここのコメント回答は全く理解できなかったんですが、そういう意味で今回の資料は、
02:31:35	すいませんコメント回答って言っても、コメント回答で何をやったのかっていうことに対して結論と、
02:31:43	それからそれぞれのそのコメント回答の中身の結果と関連づけもされてないし、
02:31:49	コメント回答を終えて、その中で検討をやり直した結果として、
02:31:55	今まで説明してる内容がどう変わったのかっていうことも全く説明がないので、
02:32:01	すいませんけどそこが最低限説明されないと会合にかけれないんですけど、
02:32:07	そこら辺ワーちゃんと改善をお願いします。
02:32:15	北海道電力奥寺でございます。
02:32:18	へえ。
02:32:22	ナンバー34について、
02:32:25	経緯も含めて、どういう結果に変わったのかといったところがわかるように、資料修正したいと思います以上です。
02:32:38	すいません今私は34のお話をしましたけれども、
02:32:42	それ以前のやつも、
02:32:46	コメント回答として、
02:32:51	例えば33番とかでいくと、
02:32:56	下限をちゃんと示せと言ってるんだけど、
02:33:00	重なる波源。
02:33:03	それも特に具体的に、
02:33:05	何ていうか途中でパーツは入ってるけど、
02:33:09	何か
02:33:11	結論というかそこら辺がしっかり。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:14	ワンクッションおいて、
02:33:16	説明されてないし、
02:33:18	そういう意味で、33番のところも、
02:33:24	コメント回答の内容と、
02:33:28	概要で説明してる内容をちゃんと関連づけて説明して欲しいっていうのと、
02:33:34	あと、
02:33:35	結果として、今まで説明した結果どうなったのか。
02:33:39	それが何でどうなのか。
02:33:42	いうことをちゃんと説明してもらわないと、言われた通りにやったら、全部ひっくり返りましたって今回結果なんですよ。
02:33:53	それに対してこれ妥当なんですよっていうことを、
02:33:58	ちゃんと説明しないと。
02:34:03	これまた変わり得るんですかって。
02:34:05	いろいろ言われてやっていくとどんどん変わってるんだけど、この結果って本当に大丈夫なんですかって。
02:34:12	多分言われると思うんですけど。
02:34:15	そういったこともちょっと含めて、
02:34:18	変わったことに対してちゃんと、
02:34:20	説明を尽くさないで。
02:34:26	なかなかこれ、
02:34:27	就職が難しいかなって思いました。
02:34:31	以上です。
02:34:34	北海道電力奥寺です。
02:34:36	冒頭の話と関連するのかと思って今伺いしてましたけれども、
02:34:43	どういうコメント等の経緯を踏まえてどういう方針でやってきたのか、そして結果はどうだったのか、それが今までと比較してどうだったのか、
02:34:57	その注目すべき、結論、理由等について明確になるように、
02:35:04	資料の方修正、本、
02:35:08	本体といいますか説明の流れも含めてこのコメントの回答方針、修正していきたいと思います以上です。
02:35:19	規制庁名倉です。
02:35:21	重要なのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:35:25	例えば 33 番であれば目的がちゃんと達成されています。
02:35:30	いうところの説明がちゃんとできていることが重要だと思うので、
02:35:34	そういう意味で目的が達成されていることをしっかり説明するようにしてください。星からは以上です。
02:35:46	谷です。ちょっと関連して、
02:35:49	確認したいんですけども、これ前回会合で、
02:35:53	僕らの上昇側の話をしたときに、
02:35:57	まず
02:36:00	ピークが重なる波源の位置ってどこですか、そこを整理してくださいね って言うのを言いましたんで、それと同時に、
02:36:08	それが一つで、それと同時に、何かパラ重なるものはパラスターを、
02:36:13	やる必要あるんじゃないんですかっていうような、
02:36:16	そういう指摘をされていて、結局のところあれなんですよね北海道電力としては、
02:36:24	この 7D っていうのをパラスタしたようなことが派遣が入れ替わっている。
02:36:30	ものであって、他のだから何か傾向で分析していた。
02:36:35	ようなこと。
02:36:36	ありましたよねパターン 1 はパターン、何とかより小さいとか、そういう傾向自体は、分析、前回の会合でやった分析自体は正しかっ
02:36:49	たっていうことでいいんですかね。変わった理由っていうのはもう 7D をもう少し
02:36:56	アスペリティ位置だとか上縁深さだとか、そういうことをもう少し、
02:37:03	詳しくやったから変わったんだってそういう説明なんですかね。
02:37:10	藤他の電力の青木です。
02:37:12	前回の審査会合の説明ですと、
02:37:17	断層パターン 7-7 でいいというパラメータが 2 羽のピークとして大きいというところを説明しておまして、そちらが重なったケースとして組み合わせ評価の最大ケースになったというところを前回でも説明している内容となっております。
02:37:31	今回の説明においても同じようなところで、断層パターン 7 の衛藤第 2 は、が重なるものが大きいという結果がえられたというふうに考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:37:41	その中でどうして波源がちょっと変わったのかっていうところなんですけれど、アスペリティ位置っていうパラメーターの変動を考慮した時に、前回ですと DE というものを使っていたんですが今回で飯野南 20 とか、
02:37:55	南 30 っていうところのもう少し細かいところまで検討していったところ、それでもう少し沖は下が出てきたというところになっております。以上です。
02:38:07	はい、わかりました。前回の、
02:38:11	分析の分析で、傾向を説明してた内容は、まあまあ変わらないんだけど、もっと 7D について、
02:38:21	アスペリティ位置だとかをちゃんとやったら、こう、こういうかなり波源が変わりました。
02:38:28	いう説明で、はい、理解しました。理解したとの説明を終わりました。
02:38:46	津波は、これぐらいにして、
02:38:51	あと一つ資料ありましたこれあれ、私あの資料見ましたけど、
02:38:57	さっき受け取ってみましたが、
02:39:02	事実関係だけが
02:39:05	整理されてるんだろうな。
02:39:08	いうふうに、
02:39:09	思いましたんで、結局のところ、
02:39:12	火山だけの資料を確認したんですかその同様の誤りがないかっていうのを、
02:39:21	水平展開みたいなのをどう扱ったんですか。
02:39:27	北海道電力の渡部です。
02:39:29	今回ボーリングコアから、
02:39:32	試料を採取して、それを分析かけたというのに対して写真の誤りがあったということで、まず、火山のこれまでの審査会合ヒアリング資料の中で同様なものがないかという観点で、
02:39:46	見ていった際に、
02:39:48	今の資料で掲載している、薄片観察、これもボーリングコアから試料を採取して、その最終状況写真等を載せているんですけども、そういったものが同じ類のものになるだろうと考えまして、
02:40:01	火山影響評価、過去のヒアリング会合にかかっているものをすべてに関して、そのような貼り間違いがないかというものをまず確認して、間違

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いは、今お示ししてるもの以外になかったといったところを確認している状況になってございます。以上です。
02:40:21	はい、井谷です。
02:40:23	それはあれなんですかね、こういう特徴があるからこの火山だけだろう、
02:40:31	間違いがあった。
02:40:33	何て言うんすかねそれ。何か1ヶ所間違いがあるとこうホカホカでもないのかなとかいうそういう確認をなんかしてきそうな気がした、して確認したんですけれども。
02:40:45	同様のっていう。
02:40:48	と同様の事例がないかっていうのを確認したっていうことですか。
02:41:00	今回火山2の中でということでもまず実施したんですけども、今ほど申し上げましたように同様なということで、
02:41:09	コアから試料を採取して状況写真を示しているものということで薄片まらず見てます。で、同様なという定義からはちょっと外れてくるかなとは思っているんですけども、
02:41:20	ボーリングコア写真ですとか、柱状図っていうのも提示していて、ひょっとしたらまた掲載誤りがあっては困るということで、
02:41:29	今回の状況写真とはまた扱い異なるかもしれないんですけど、それに関しまして過去のピアリング資料会合資料、これも火山の中でってことにはまずなるんですけども、
02:41:39	報告書からの掲載誤りがないか。
02:41:42	そのないことの確認と、例えばリスクとして、
02:41:46	コアをも貼って行って、
02:41:49	柱状図だけを間違っ、コアの示している写真と書いてある柱状図が違うなんてことはあってはいけませんので、それぞれ不整合、それぞれコア写真と柱状図で、
02:42:00	ちゃんと対応するものになってるかどうかっていうところも今回あわせて確認させていただいたところですので以上です。
02:42:10	はい。リース関係確認できました。ですね
02:42:16	これ前なんかちらりといいましてインフォメーションノートスっていうのが、4月6日に出て来、これはを知ってますよね。
02:42:26	これを、
02:42:30	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:42:32	これを踏まえて、北海道電力として、きちんと対応したっていうふうな説明に、説明ですかねきちんと対応されている。
02:42:41	今、言いますかちょっとその辺の考えだけ確認させてください。
02:43:01	はい。現況のこの写真の貼り間違いに関しましては社内のQMS体制上どうしていくかっていうところになるんですけども、現在本件について、いわゆる状態報告 CR 報告。
02:43:13	と登録を実施している状況でございます。この登録を踏まえた上で、今後、原子力安全に与える影響度合い等を考慮したスクリーニングを、
02:43:24	弊社の中のしかるべきグループの中で実施して行って、その中でどのような扱いとなっていくかっていうのが整理されてそれに基づくQMS体制の中で、
02:43:33	しっかりとした対照していきたいなというふうに元気を考えてる次第です以上です。
02:43:40	はい、谷です。はい、状況確認できました。
02:43:44	うん。まだひょっとしたら何か必要に応じてですねこういう説明求めるかもしれませんけれども状況だけは
02:43:52	今の現況と対応ですね、今のところここまでやっているっていう状況わかりましたんで、はい。
02:44:09	谷ですけど。
02:44:11	特に他の皆さんいいですかこの件に関して、
02:44:25	は、大分もう時間をしてるんで、特に北海道電力からなければこれで終わりますけれども、
02:44:32	いいですかね。
02:44:34	はい。それでは、ヒアリングを終了しますどうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。